DENON®

DNP-2000NE

Network Audio Player

取扱説明書

目次

使用上のご注意 7
- 携帯電話使用時のご注意 7
- お手入れについて 7
- 結露(つゆつき)について 7

付属品 8
- 乾電池の入れかた 9
- リモコンの使いかた 9

各部の名前 10
- フロントパネル 10
- リアパネル 12
- リモコン 14

接続のしかた

アンプを接続する 20

テレビを接続する 21
- テレビの HDMI ARC 端子に接続する 21
- テレビの光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子に接続する 23

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する 25

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する 26

パソコンまたは Mac と接続する 27

USB 端子に USB メモリーを接続する 28

ホームネットワーク(LAN)に接続する 29
- 有線 LAN 29
- 無線 LAN 30

IR コントロール端子に接続する 31

電源コードを接続する 32

再生のしかた

基本操作 34
電源を入れる 34
電源をスタンバイにする 34
入力ソースを選ぶ 35
インターネットラジオを聴く 36
インターネットラジオを聴く 37
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 38
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 39
USB メモリーを再生する 41
USB メモリーに保存されているファイルを再生する 42
Bluetooth 機器の音楽を聴く 44
Bluetooth 機器の音楽を聴く 45
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする 46
Bluetooth 機器から本機に再接続する 46
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く 47
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く 48
Bluetooth ヘッドホンに再接続する 49
Bluetooth ヘッドホンを切断する 49
デジタル入力を再生する 50
テレビやデジタル機器と接続して再生する(HDMI ARC/Coaxial/Optical 1/Optical 2) 50
パソコンと接続して再生する(USB-DAC) 52
HEOS アプリをダウンロードする 62
HEOS アカウント 63
ストリーミング音楽サービスを再生する 64
同じ音楽を複数の部屋で聴く 67
AirPlay 機能 71
iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する 72
iTunes の曲を本機で再生する 72
iPhone、iPod touch、iPad の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2) 73
Spotify Connect 機能 74
Spotify の曲を本機で再生する 74
便利な機能 75
HEOS お気に入りに追加する 75
HEOS お気に入りを再生する 76
HEOS お気に入りを削除する 76
ディスプレイの明るさを切り替える 77
スリープタイマーを設定する 77

設定のしかた

設定メニュー 一覧 78
- 設定メニューの操作のしかた 83

文字入力 84
- 数字ボタンで入力する 84
- カーソルボタンで入力する 85

オーディオ 86
- ライン出力レベル 86
- 音量の上限 86
- H/P アンプゲイン 86

テレビ 87
- テレビ入力 87
- HDMI パワーオフコントロール 88

一般 89
- 言語 89
- オートスタンバイ 89
- 電源オン連動 89
- 使用状況の送信設定 89
- ファームウェア 90
- 情報 93
- リセット 93

ネットワーク 94
- ネットワーク情報 94
- ネットワーク& USB-A 94
- Wi-Fi 94
- Bluetooth 95
- ネットワーク制御 96
- フレンドリ名 96
- 接続 97
- 接続の設定 100
- 診断 101
- AirPlay 101

HEOS アカウント 102
- サインインしていない場合 102
- サインインしている場合 102

リモコンの音量調節ボタンの操作モードを設定する 103
- リモコンをネットワークオーディオプレーヤー操作モードに設定する 104
- リモコンをアンプ操作モードに設定する 104

困ったときは

こんなときの解決方法 106
故障かな？と思ったら 108
電源が入らない / 電源が切れる 109
リモコンで操作ができない 110
本機のディスプレイが表示されない 110
音がまったく出ない 111
音が途切れたり、ノイズが入ったりする 112
希望する音が出ない 113
AirPlay 再生ができない 114
USB メモリーが再生できない 115
Bluetooth が再生できない 116
インターネットラジオが再生できない 119
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない（ミュージックサーバー） 120
各種オンラインサービスが再生できない 121
無線 LAN ネットワークに接続できない 121
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない（USB-DAC） 122
デジタル機器の音声を再生できない（HDMI ARC/Coaxial/Optical） 123
入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替わる 123
HDMI コントロール機能がはたらかない 123
アップデート/アップグレードエラーメッセージ 124
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す 125
ファクトリーリストア 126
保証と修理について 127

付録

USB メモリーの再生について 129
D/A コンバーターについて 130
Bluetooth 機器の再生について 131
パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について 132
インターネットラジオの再生について 133
ラストファンクションメモリー 133
HDMI について 134
用語の解説 135
登録商標について 139
主な仕様 140
索引 144

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1〜2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット

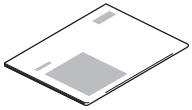
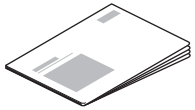
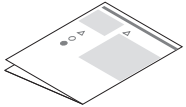
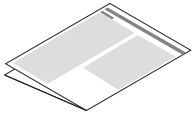
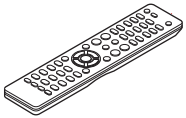
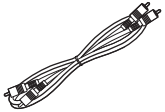


- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

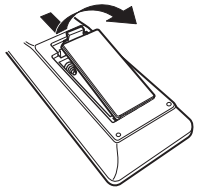
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

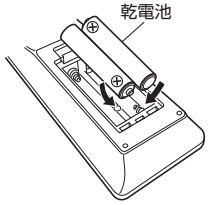
 かんたんスタートガイド	 取扱説明書（本書）	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意
 保証書	 電源コード【本機専用】	 リモコン（RC−1248）	 単4形乾電池（2本）
 オーディオケーブル	 IRコントロールケーブル	 Bluetooth/無線LAN 用外部アンテナ（2 本）	

乾電池の入れかた

1 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



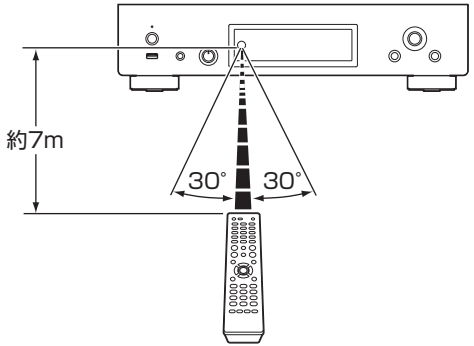
3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損·液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

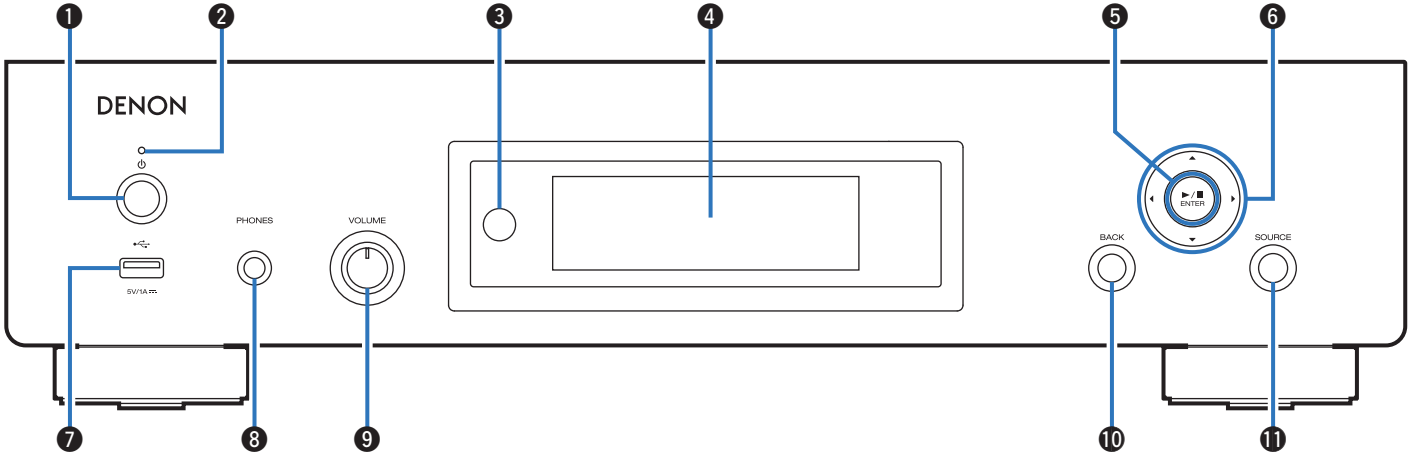
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。

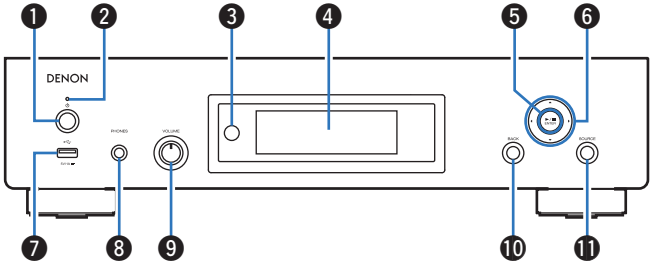


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



❶ 電源ボタン(⏻)
電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞34 ページ)

❷ 電源表示
電源の状態によって、次のように点灯します。
- 緑色:電源オン時(製品カラー:プレミアムシルバー)
- 白色:電源オン時(製品カラー:グラファイトシルバー)
- 消灯:通常のスタンバイ時
- 赤色:
  - "ネットワーク制御"設定が"オン"の時(☞96 ページ)
  - "自動再生"設定が"オン"の時(☞87 ページ)

❸ リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。(☞9 ページ)

❹ ディスプレイ
各種情報を表示します。

❺ 再生/一時停止/エンターボタン(▶/❚❚/ENTER)
曲の再生と一時停止、そして選択した内容の確定をします。

❻ カーソルボタン(△▽◁▷)
項目を選択します。

❼ USB 端子(•⇆)
USB ストレージ(USB メモリーなど)を接続します。(☞28 ページ)

❽ ヘッドホン端子(PHONES)
ヘッドホンを接続します。

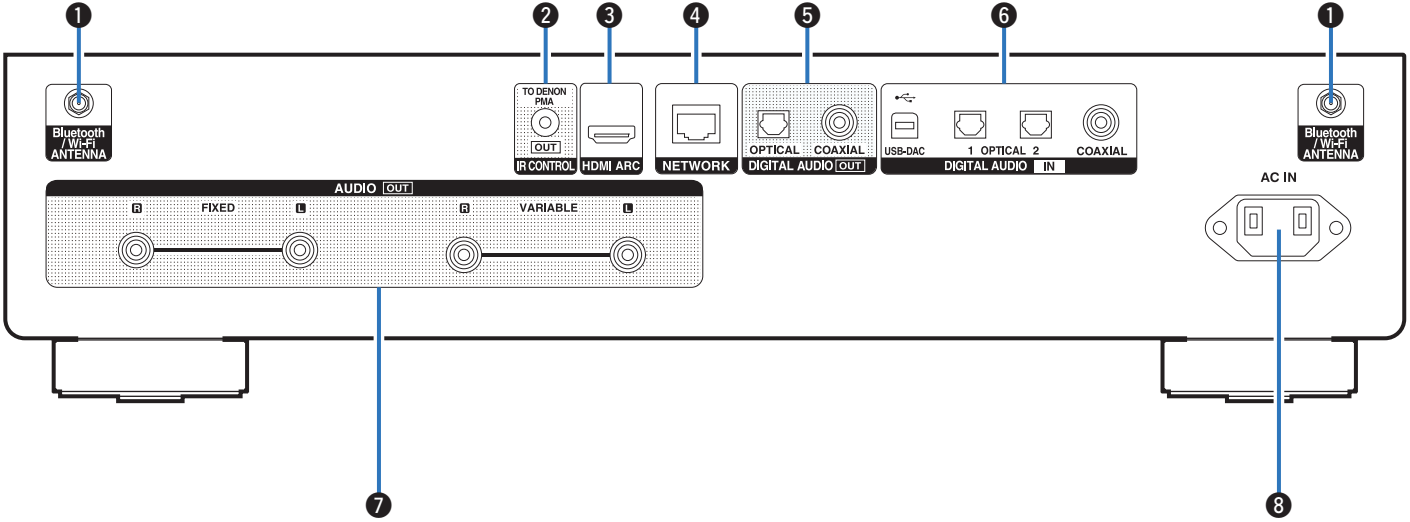
❾ ヘッドホン音量調節つまみ(VOLUME)
ヘッドホンの音量を調節します。

ご注意
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

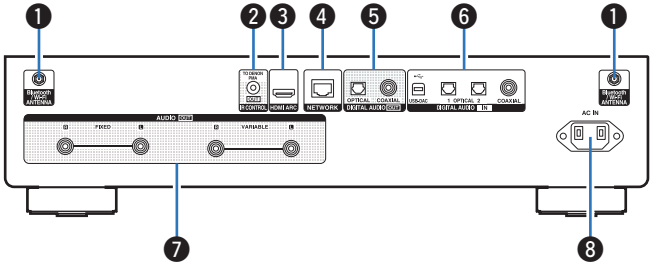
❿ バックボタン(BACK)
ひとつ前の項目に戻ります。

⓫ 入力ソース選択ボタン(SOURCE)
入力ソースを切り替えます。(☞35 ページ)

リアパネル



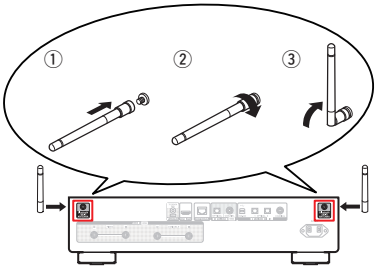
詳しくは、次のページをご覧ください。



❶ **Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子**

Bluetooth でお手持ちの機器と接続する場合、または無線 LAN でネットワークに接続する場合は、この端子に付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを接続してご使用ください。(☞30 ページ)

① Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルのアンテナ端子と水平に合わせる。
② アンテナを右に回してしっかり締める。
③ 最も受信状態が良い向きにアンテナを回転させる。



❷ **IR コントロール端子(IR CONTROL)**

IR コントロール端子付きの Denon 製アンプを接続します。(☞31 ページ)

❸ **HDMI 端子 (HDMI ARC)**

ARC 機能対応のテレビを接続します。(☞21 ページ)

❹ **ネットワーク端子(NETWORK)**

有線 LAN でネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(☞29 ページ)

❺ **デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)**

デジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続します。(☞25 ページ)

❻ **デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)**

- 光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子付きのテレビを接続します。(☞23 ページ)
- デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(☞26 ページ)

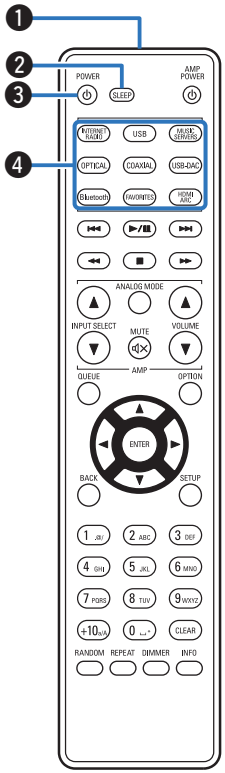
❼ **アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)**

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞20 ページ)

❽ **AC インレット(AC IN)**

電源コードを接続します。(☞32 ページ)

リモコン



付属のリモコンは本機だけでなく、Denon 製アンプも操作できます。

- 「アンプの操作」(☞18 ページ)

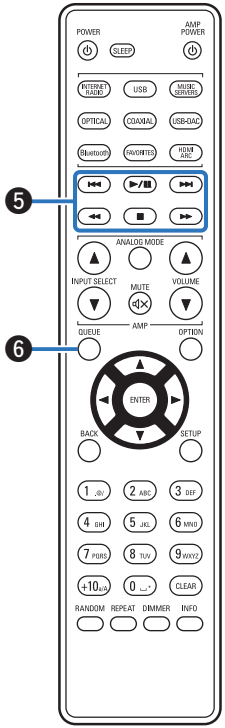
■ 本機の操作

❶ リモコン信号送信窓
リモコンの信号を送信します。(☞9 ページ)

❷ スリープタイマーボタン(SLEEP)
スリープタイマーを設定します。(☞77 ページ)

❸ 電源ボタン(POWER ⏻)
電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞34 ページ)

❹ 入力ソース選択ボタン
入力ソースを選択します。(☞35 ページ)



❺ システムボタン

再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(►/❚❚)

  再生中にボタンを押すと、一時停止します。また、一時停止中および停止中にボタンを押すと、最後に再生した音楽の再生を再開します。
- スキップボタン(►►I)

  再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。
- スキップボタン(I◄◄)

  再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。
- 早送りボタン(►►)

  長押しすると、早送りします。
- 早戻しボタン(◄◄)

  長押しすると、早戻しします。
- 停止ボタン(■)

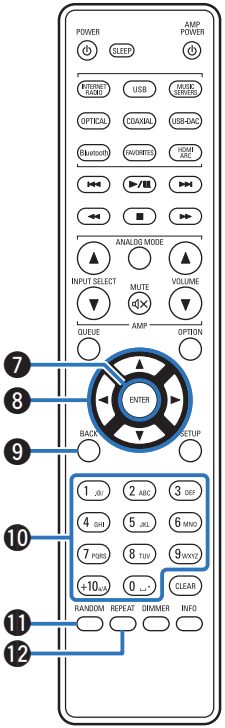
  再生中にボタンを押すと、停止します。

- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。

❻ キューリスト呼び出しボタン(QUEUE)

キューリストを表示します。

- 「インターネットラジオを聴く」(☞36 ページ)
- 「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞38 ページ)
- 「USB メモリーを再生する」(☞41 ページ)



❼ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。

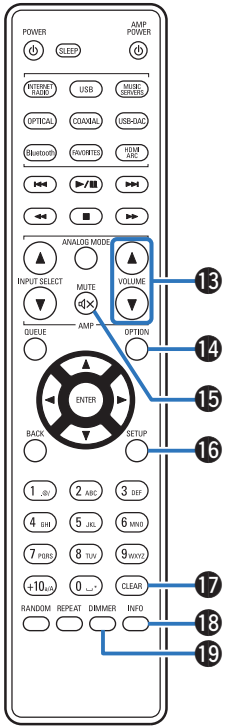
❽ **カーソルボタン(△▽◁▷)**
項目を選択します。

❾ **バックボタン(BACK)**
ひとつ前の項目に戻ります。

❿ **数字/文字ボタン(0〜9、+10)**
本機の文字入力や数字入力をします。(☞84 ページ)

⓫ **ランダムボタン(RANDOM)**
ランダム再生をします。

⓬ **リピートボタン(REPEAT)**
リピート再生をします。



⓭ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)

本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量を調節します。この機能はリモコンの音量操作モードをネットワークオーディオプレーヤー操作モードに設定している場合に有効です。(☞103 ページ)

⓮ オプションボタン(OPTION)

オプションメニューをディスプレイに表示します。

- 入力ソースによっては、オプションメニューを表示しません。

⓯ ミュートボタン(MUTE 🔇)

本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号を消音します。この機能はリモコンの音量操作モードをネットワークオーディオプレーヤー操作モードに設定している場合に有効です。(☞103 ページ)

⓰ セットアップボタン(SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します。(☞83 ページ)

⓱ クリアボタン(CLEAR)

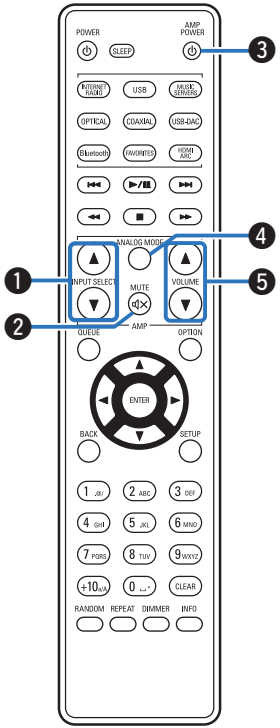
設定を取り消します。

⓲ インフォメーションボタン(INFO)

ディスプレイに表示する、再生中の曲情報を切り替えます。

⓳ ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(☞77 ページ)



■ アンプの操作

Denon 製アンプを操作できます。

❶ 入力ソース切り替えボタン(INPUT SELECT ▲▼)

❷ ミュートボタン(MUTE 🔇)

❸ 電源ボタン(AMP POWER ⏻)

❹ アナログモードボタン(ANALOG MODE)

❺ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)

- 一部操作ができない製品もあります。
- ❷ と ❺ はリモコン操作モードの設定がアンプ操作モード(お買い上げ時の設定)のときに操作できます。(☞103 ページ)

接続のしかた

■ 目次

アンプを接続する	20
テレビを接続する	21
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	25
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	26
パソコンまたは Mac と接続する	27
USB 端子に USB メモリーを接続する	28
ホームネットワーク(LAN)に接続する	29
IR コントロール端子に接続する	31
電源コードを接続する	32

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

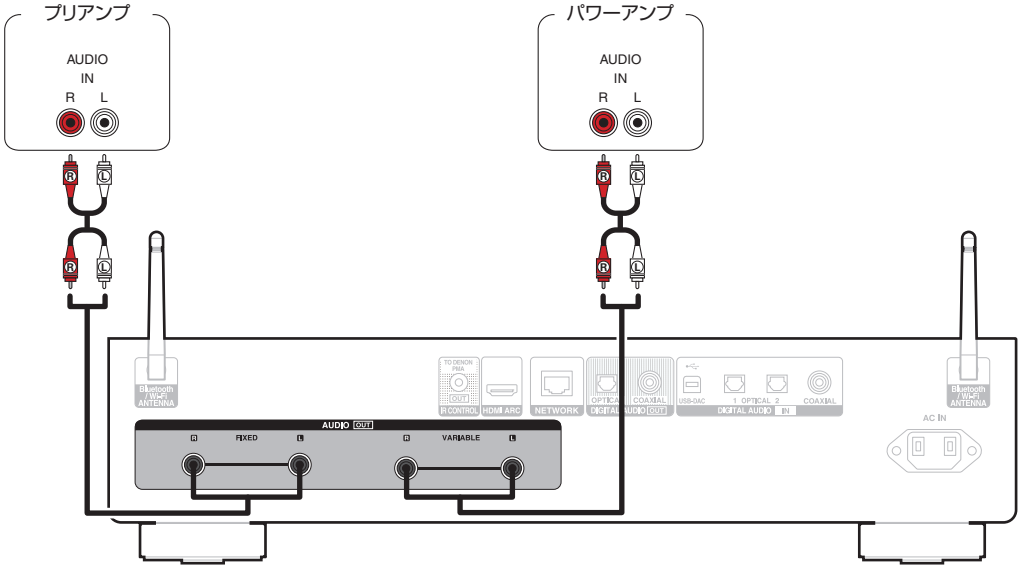
■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

オーディオケーブル(付属)	
IR コントロールケーブル(付属)	
HDMI ケーブル(市販)	
光伝送ケーブル(市販)	
同軸デジタルケーブル(市販)	
USB ケーブル(市販)	
LAN ケーブル(市販)	

アンプを接続する

本機は通常のアナログ音声出力端子(FIXED)に加え、本機から出力する音声信号の音量を調節できるアナログ音声出力端子(VARIABLE)を備えています。パワーアンプをアナログ音声出力端子(VARIABLE)に接続して、リモコンの VOLUME ▲▼ ボタンで本機から出力する音声信号の音量を調節することができます。



ご注意

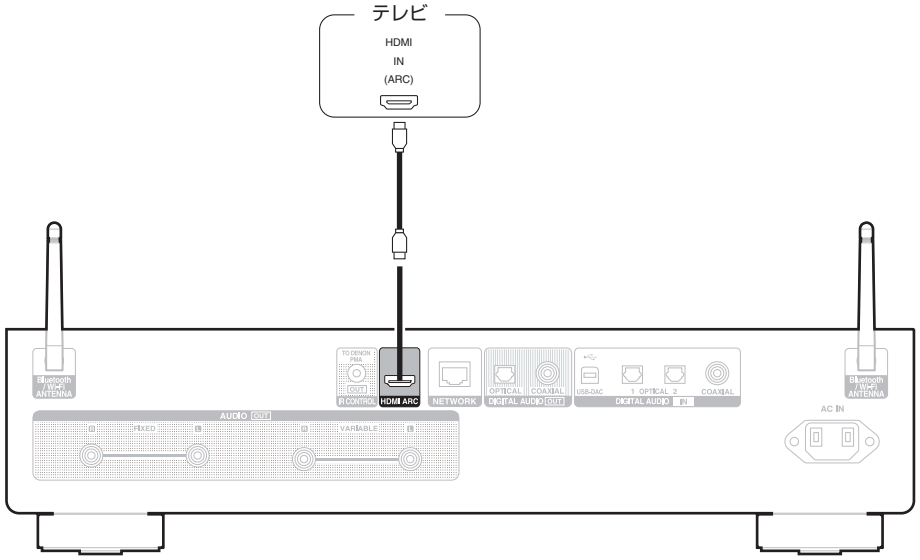
- アナログ音声出力端子(FIXED)にはパワーアンプを接続しないでください。パワーアンプを接続すると、スピーカーが壊れる恐れがあります。
- 設定メニューの“ライン出力レベル”で音声出力する端子を“可変出力”または“固定出力”に設定してください。(☞86 ページ)
- リモコンで本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量を調節するには、リモコンの音量調節ボタンの操作モードをネットワークオーディオプレーヤー操作モードに設定してください。(☞103 ページ)
- テレビと HDMI ARC 接続している場合、音量調節を快適におこなうために本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)にアンプを接続することをおすすめします。

テレビを接続する

本機にテレビを接続し、テレビの音声を高音質でお楽しみいただくことができます。

テレビのHDMI ARC端子に接続する

お手持ちのテレビの HDMI 端子が ARC 対応の場合、HDMI 接続してください。



- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の HDMI ARC 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応したテレビの HDMI 入力端子に接続してください。
- ARC 機能に非対応のテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(☞23 ページ)
- テレビと HDMI ARC 接続している場合、音量調節を快適におこなうために本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)とアンプを接続することをおすすめします。(☞20 ページ)

ご注意

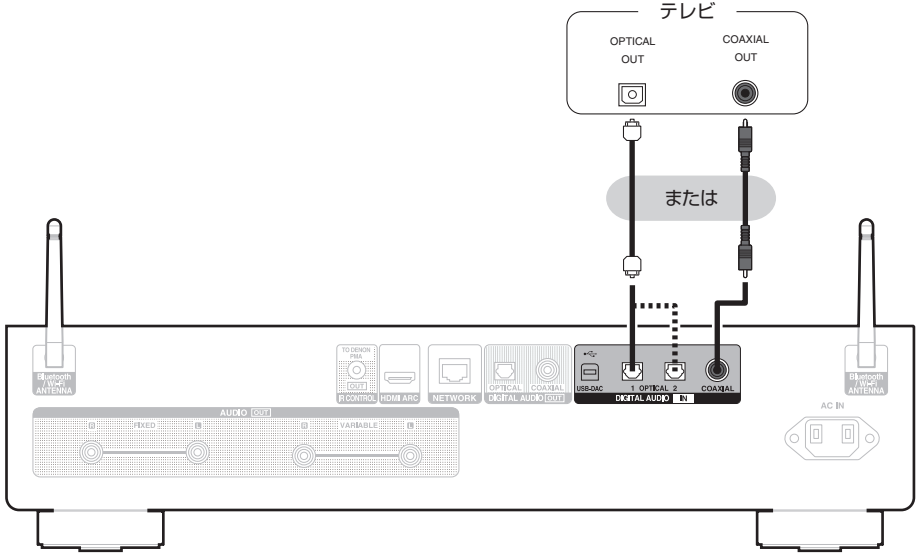
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(☞130 ページ)をご覧ください。

テレビの光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子に接続する

お手持ちのテレビの HDMI 端子が ARC 非対応の場合または HDMI 端子が無い場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続してください。



- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

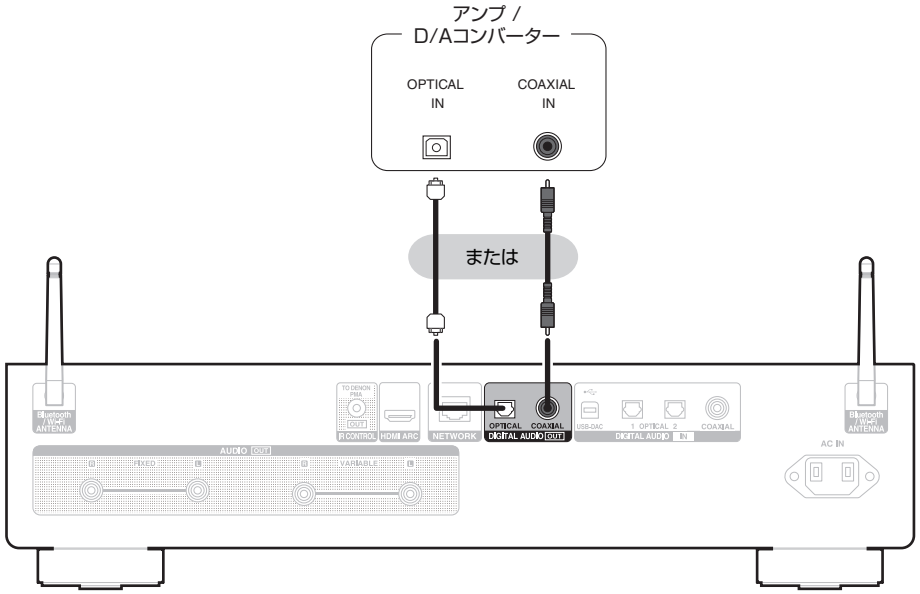
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(☞130 ページ)をご覧ください。

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。

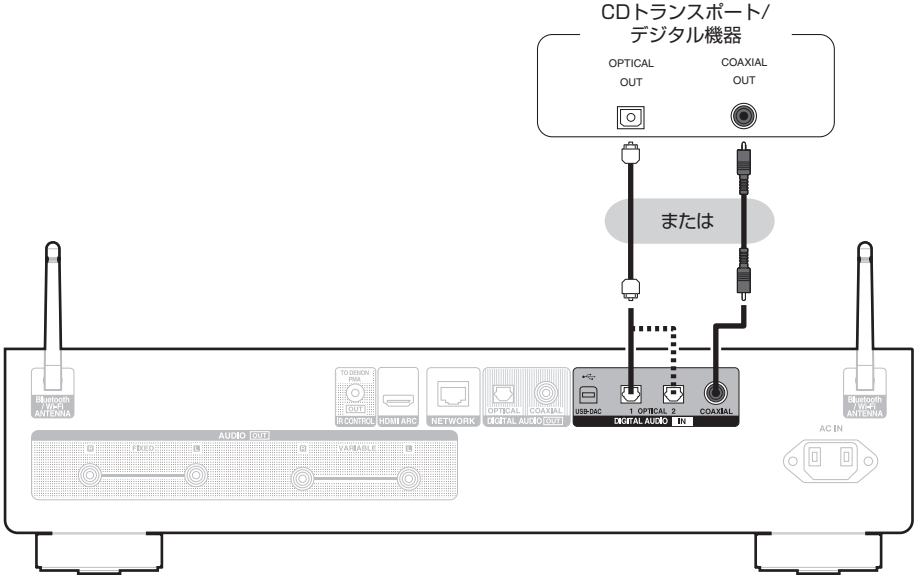


ご注意

- 本機の USB-DAC 機能を使用して、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。
- USB メモリーやネットワーク経由で DSD ファイルを再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(☞50 ページ)



■ 再生できる音声信号の仕様

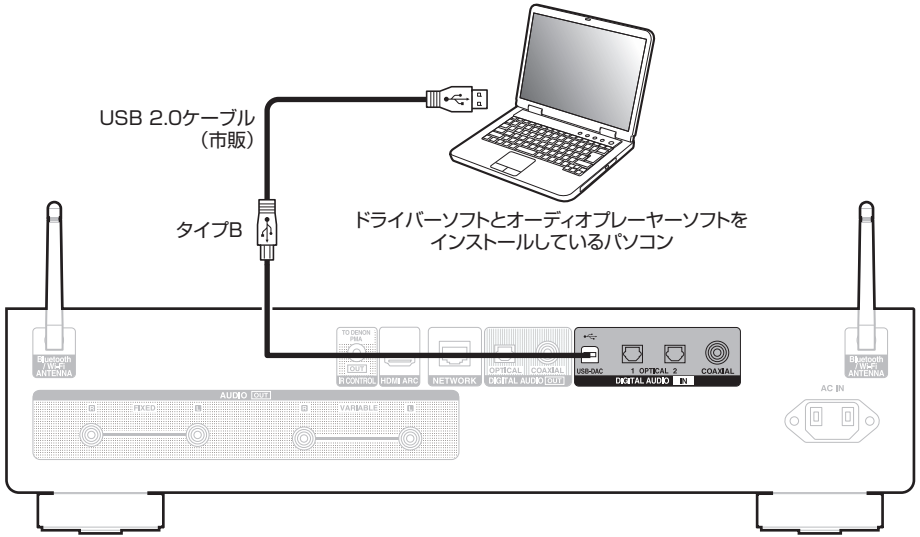
「D/A コンバーターについて」(☞130 ページ)をご覧ください。

パソコンまたはMacと接続する

本機のリアパネルのUSB端子(USB-DAC)とパソコンをUSBケーブル(市販)で接続すると、パソコンの音楽データを本機のD/Aコンバーターで再生できます。(☞52ページ)

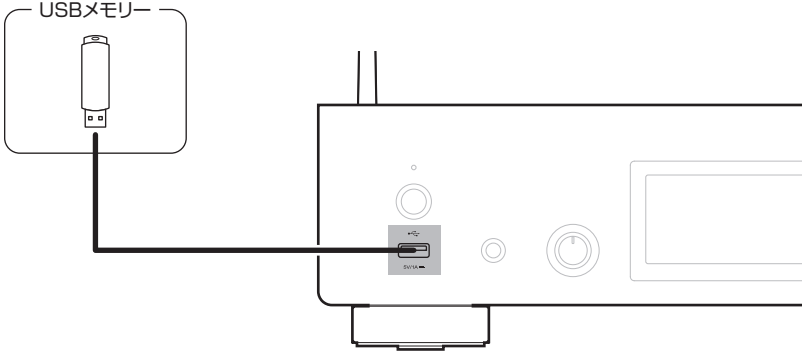
ご注意

- 本機とパソコンをUSB接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(☞52ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトのDNP-2000NEのページからダウンロードしてください。
- パソコンとの接続には、3m以下のケーブルをご使用ください。



USB端子にUSBメモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」(☞41 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、リアパネルのデジタル音声入力の USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

ホームネットワーク(LAN)に接続する

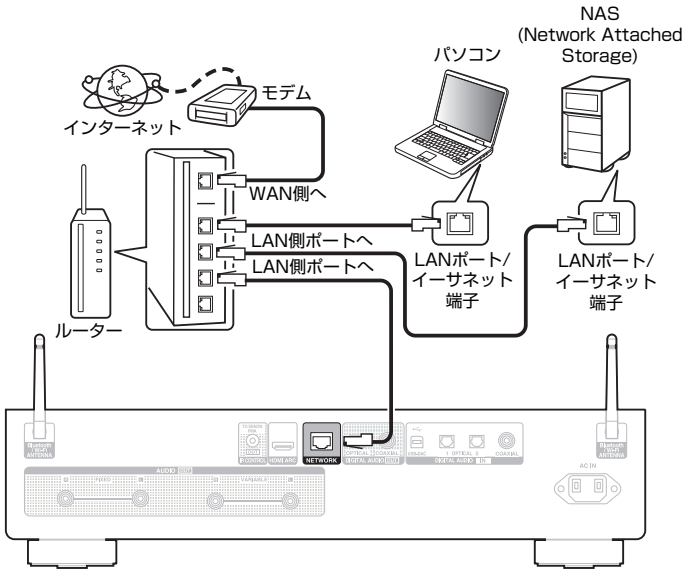
本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。
本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやメディアサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- ストリーミング音楽サービスの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでの動作
- ファームウェアのアップデート

インターネットの接続については、ISP(Internet Service Provider)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

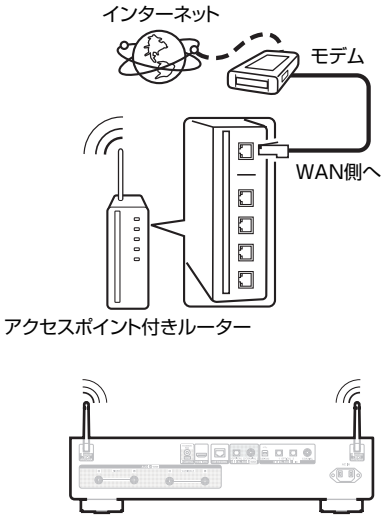
有線LAN

有線 LAN で接続する場合は、図のようにルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルに接続し、アンテナを立ててご使用ください。
無線 LAN ルーターとの接続方法は、設定メニューの“Wi-Fi 設定”をご覧ください。(☞97 ページ)



- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルーターをおすすめします。
  - DHCP サーバー内蔵
    LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
  - 100BASE-TX スイッチ内蔵
    複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- DHCP 機能のないネットワークに本機を接続して使用する場合は、設定メニューの“ネットワーク”で IP アドレスなどの設定をおこなってください。(☞94 ページ)

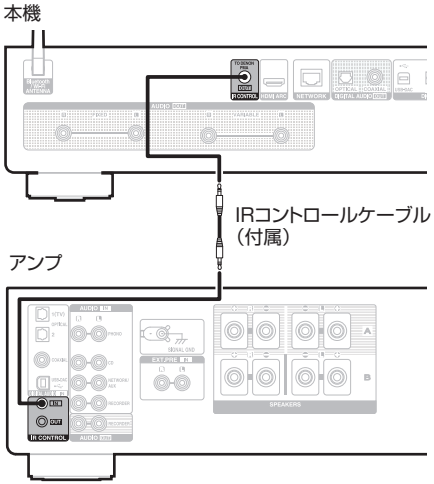
ご注意

- ISP 業者によって使用できるルーターの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルーターが必要です。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等に LAN 接続してください。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 各種オンラインサービスは、予告なく終了する場合があります。
- アンテナを持って本機を動かさないでください。

IR コントロール端子に接続する

本機と Denon 製のアンプを組み合わせて接続すると、次の機能をご使用いただけます。

- HEOS アプリを使用して本機経由でアンプをコントロールする機能。
- テレビのリモコン(HDMI コントロール機能)を使用して、本機経由でアンプをコントロールする機能。
- HEOS アプリやテレビのリモコン(HDMI コントロール機能)を使用して本機の電源を入れるとアンプの電源が入り、アンプの入力ソースが“EXT.PRE” または “NETWORK” に切り替わります。



- 設定メニューの“ライン出力レベル”が“可変出力”のとき、アンプの入力ソースが “EXT.PRE” に切り替わります。“固定出力”のとき、アンプの入力ソースが “NETWORK” (NETWORK/AUX)に切り替わります。(☞86 ページ)
- 設定メニューの“電源オン連動”が“オフ”のとき、本機の電源を入れてもアンプの電源は連動しません。(☞89 ページ)

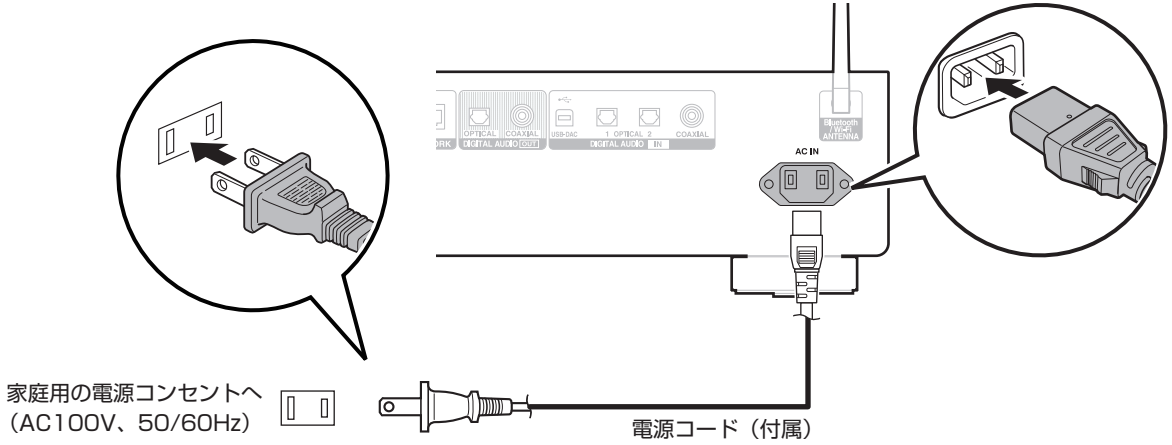
■ 接続

付属の IR コントロールケーブルで、本機の IR CONTROL OUT 端子とアンプの IR CONTROL IN 端子を接続します。

- リアパネルに IR CONTROL 端子または REMOTE CONTROL 端子がある Denon 製のアンプのみ接続できます。
- 本機に接続する Denon 製アンプとテレビによっては、テレビのリモコン(HDMI コントロール機能)での音量調整がはたらかない場合があります。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる 34
電源をスタンバイにする 34
入力ソースを選ぶ 35

ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く 36
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 38
HEOS アプリをダウンロードする 62
AirPlay 機能 71
Spotify Connect 機能 74

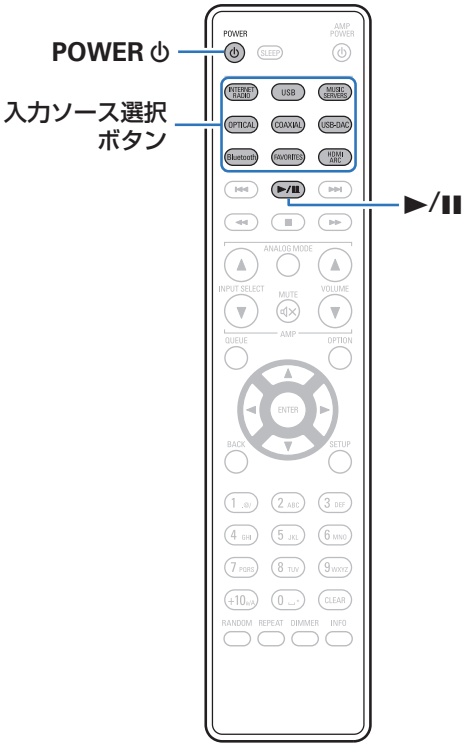
機器を再生する

USB メモリーを再生する 41
Bluetooth 機器の音楽を聴く 44
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く 47
デジタル入力を再生する 50

便利な機能

HEOS お気に入りに追加する 75
HEOS お気に入りを再生する 76
HEOS お気に入りを削除する 76
ディスプレイの明るさを切り替える 77
スリープタイマーを設定する 77

基本操作



電源を入れる

1 **POWER ⏻ を押して電源を入れる。**

- 本体の ⏻ を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。
- ►/❚❚ を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 **POWER ⏻ を押す。**
スタンバイ状態になります。

- 本体の ⏻ を押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

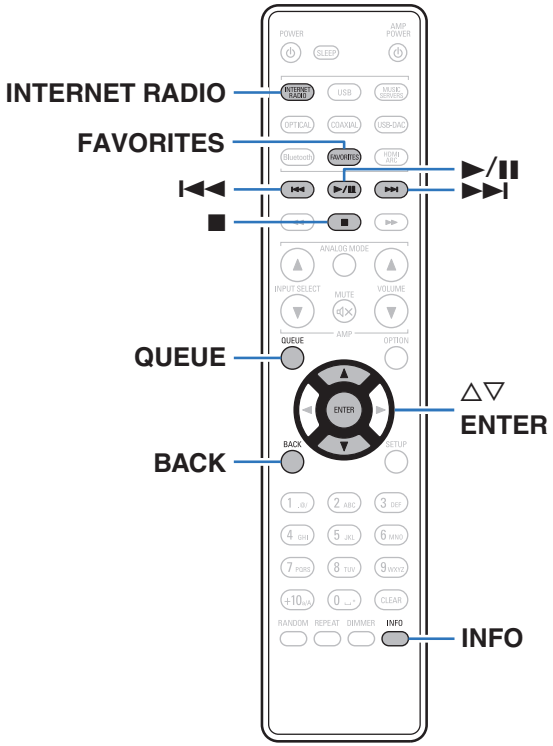
入力ソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。

ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。

- 本体の SOURCE を押しても、入力ソースを選択できます。

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、TuneIn ラジオサービスのデータベースサービスを利用しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「インターネットラジオの再生について」(☞133 ページ)をご覧ください。
  - WMA
  - MP3
  - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

1 INTERNET RADIO を押す。

2 再生したい放送局を選ぶ。

操作ボタン	機能
▶/❚❚*	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭ *	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
FAVORITES	HEOS お気に入りリストを表示します。 (☞76 ページ)
INFO	放送局名とファイルフォーマットの表示切り替え
QUEUE	キューリストの表示

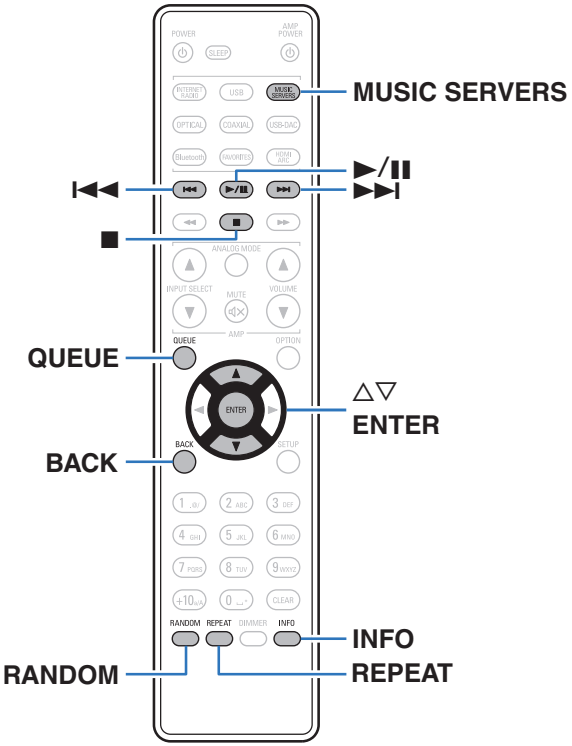
* ポッドキャストを再生中に有効です。

- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“ . ”(ピリオド)に置き換えて表示します。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンや DLNA 対応の NAS（Network Attached Storage）に保存されている音楽ファイルやプレイリスト（m3u、wpl）を再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について」(☞132 ページ)をご覧ください。
  - WMA
  - MP3
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - Apple Lossless
  - DSD

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

DLNA ファイルサーバーに保存されている音楽ファイルやプレイリストを再生する場合におこないます。

1 **MUSIC SERVERS を押して、入力ソースを“Music Servers”に切り替える。**

2 **ネットワーク上のパソコンまたは NAS（Network Attached Storage）名を選ぶ。**

3 **パソコンまたは NAS 内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。**

- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生しているトラックの直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

4 △▽ を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。

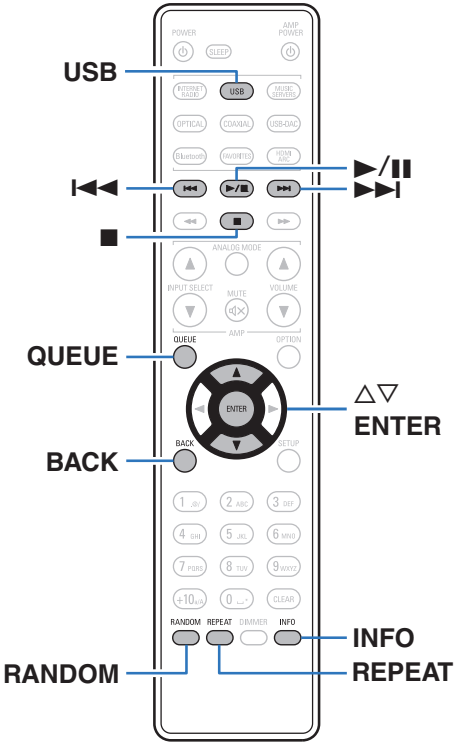
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
BACK	1 つ上の階層に移動
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生
INFO	アルバム名とファイルフォーマットの表示切り替え
QUEUE	キューリストの表示

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境によっては音声が途切れることがあります。このような場合は、有線 LAN で接続してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、頭文字での検索が正しく動作せず、曲の表示順がアルファベット順にならない場合があります。

USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マスストレージクラスに対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、“FAT32” または “NTFS” フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USB メモリーの再生について」(☞129 ページ)をご覧ください。
  - WMA
  - MP3
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - Apple Lossless
  - DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 USB メモリーをフロントパネルの USB 端子に挿入する。

2 USB を押して、入力ソースを“USB Music”に切り替える。

3 本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

4 USB メモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。

- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生しているトラックの直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

5 △▽ を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。

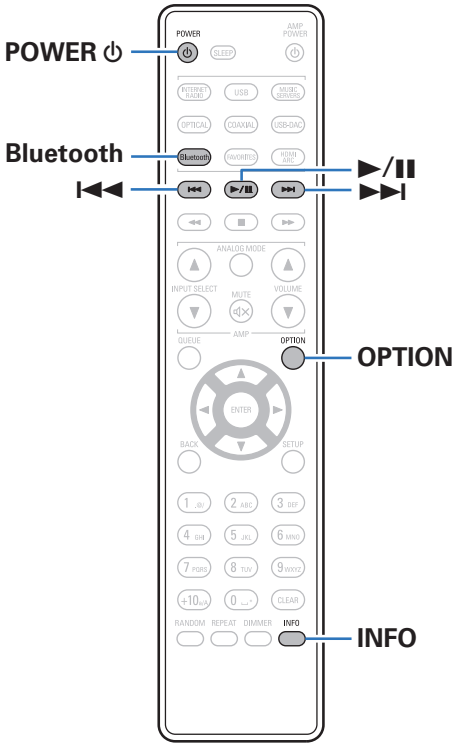
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生
INFO	アルバム名とファイルフォーマットの表示切り替え
QUEUE	キューリストの表示

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。
約 30m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 再生の準備をする。

① 付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを、リアパネルの Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子に接続する。(☞13 ページ)
② POWER ⏻ を押して、電源を入れる。

2 Bluetooth を押す。

はじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになり、本機のディスプレイに “Bluetooth ペアリングモード” を表示します。

3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。

4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

本機のディスプレイに “Bluetooth ペアリングモード” が表示されている間に、Bluetooth 機器の接続操作をおこなってください。
また、Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離(1m 程度)でおこなってください。

5 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
INFO	Bluetooth 機器名とアルバム名の表示切り替え

2台目以降のBluetooth機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

1 **Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。**

2 **リモコンの Bluetooth を 3 秒以上押す。**

本機はペアリングモードになります。

3 **Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。**

- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth の再生画面が表示されているときに OPTION を押し、表示されたオプションメニューから“ペアリングモード”を選択しても、ペアリングモードに入ることができます。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、Bluetooth 機器で設定している音量と本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量が連動します。

Bluetooth機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体を操作せずに接続することができます。

再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

1 **現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。**

2 **接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。**

3 **お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。**

4 **Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。**

- 本機の電源および Bluetooth 機能がオンのときに Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から Bluetooth 接続および再生操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。(☞96 ページ)

Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

本機で再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。



- この機能は 2023 年 12 月のファームウェアアップデートをおこなうことで追加されます。あなたの製品のファームウェアが最新かどうか、設定メニューから確認してください。
  設定メニュー - 一般 - ファームウェア - アップデートの確認(☞90 ページ)

Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

1 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定する。(☞95ページ)

2 本機に接続したいBluetoothヘッドホンをペアリングモードにする。

3 “デバイス”を選び、デバイスリストから接続したいBluetoothヘッドホンの機器名を選ぶ。

4 接続が完了したら、Bluetoothヘッドホン側で音量を調節する。

- Bluetoothヘッドホンの接続と同じ操作でA2DPプロファイル対応のBluetoothスピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetoothヘッドホンの音量は、本機では調節できません。Bluetoothヘッドホン側で音量を調節してください。
- Bluetoothヘッドホンに送信する音声は遅延する場合があります。
- AirPlayおよびRoon Readyの音声は送信できません。
- Bluetooth入力ソースを選択している場合は、Bluetoothヘッドホンを接続できません。
  また、Bluetooth入力ソースを選択すると、本機とBluetoothヘッドホンの接続が切断されます。
- 本機がHEOSアプリでグループ化されている場合、Bluetoothヘッドホンは接続できません。
- 本機の入力ソースを他のHEOS機能搭載機器が再生している場合、Bluetoothヘッドホンは接続できません。

注意:
音量調整機能がないBluetoothヘッドホンを使用する場合

- 聴覚障害の原因となる場合がありますので、音量調整機能がないBluetoothヘッドホンを接続しないでください。
- 本機を音量調整機能がないBluetoothヘッドホンに接続すると、突然大きな音が出力される場合があります。
- Bluetoothヘッドホンの音量は本機では調節できません。

Bluetoothヘッドホンに再接続する

一度ペアリングが済んでいれば、次のいずれかの操作をすると、最後に使用したBluetoothヘッドホンに再接続できます。

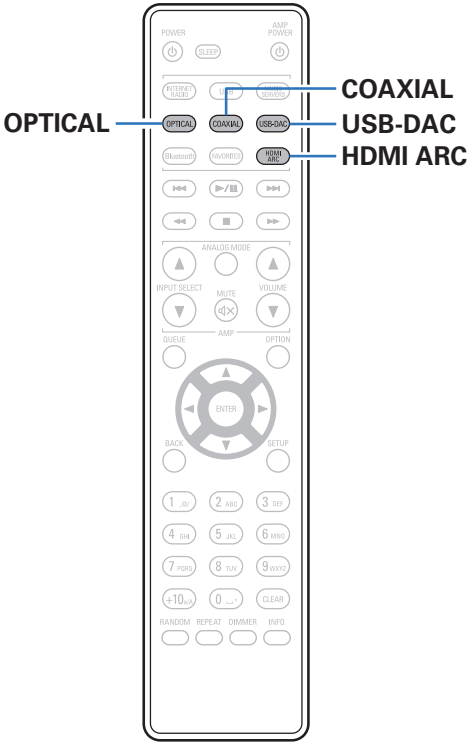
- Bluetoothヘッドホンの再接続機能を使用して、本機に再接続する。
- 設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から接続したい機器名を選択する。(☞95 ページ)

Bluetoothヘッドホンを切断する

次のいずれかの操作をすると、Bluetoothヘッドホンとの接続を切断できます。

- Bluetoothヘッドホンの電源をオフにする。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で“ヘッドホン”を“オフ”に設定する。(☞95 ページ)

デジタル入力を再生する



テレビやデジタル機器と接続して再生する(HDMI ARC/Coaxial/Optical 1/Optical 2)

1 **再生の準備をする。**

接続を確認して、本機の電源を入れてください。(「テレビを接続する」(☞21 ページ)、「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」(☞26 ページ))

2 **HDMI ARC、COAXIAL または OPTICAL を押して、入力ソースを“HDMI ARC”、“Coaxial”、“Optical 1”または“Optical 2”に切り替える。**

3 **本機に接続した機器を再生する。**

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。

- 設定メニューの“テレビ入力”の設定をおこなうと、本機に接続したテレビの電源オン操作に連動して自動的に本機の電源をオンにし、入力ソースを“HDMI ARC”、“Coaxial”、“Optical 1”または“Optical 2”に切り替えます。(☞87 ページ)
- テレビを光デジタル接続または同軸デジタル接続している場合、テレビの電源オフ操作で本機をスタンバイ状態にできません。自動的に本機をスタンバイにしたい場合は、設定メニューの“オートスタンバイ”を設定してください。(☞89 ページ)

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを “PCM 2ch” に設定してください。

■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(☞130 ページ)をご覧ください。

■ HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビを HDMI ケーブルで接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、テレビのリモコンで本機の基本操作(入力ソース切り替え、電源オン/オフ、音量調節)をおこなえます。

HDMI コントロール機能については、「HDMI について」(☞134 ページ)をご覧ください。

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- macOS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 10 および Windows 11
- macOS 12 および 13

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 10 および Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Apple、Macintosh、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Windows OS 専用ドライバーソフトのインストール(☞53 ページ)

macOS オーディオ装置の確認のしかた(☞59 ページ)

■ 専用ドライバーソフトのインストール（Windows OS のみ）

❑ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

1 **本機とパソコンの USB 接続を解除する。**

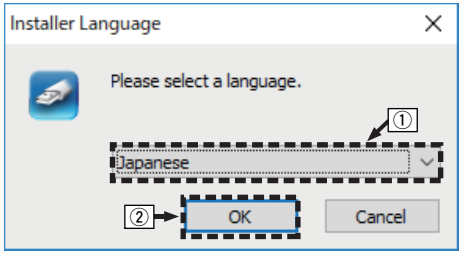
- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合は、USB 接続を解除して、パソコンを再起動してください。

2 **ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト DNP-2000NE のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。**

3 **ダウンロードファイルを解凍し、exe ファイルをダブルクリックする。**

4 **ドライバーソフトをインストールする。**

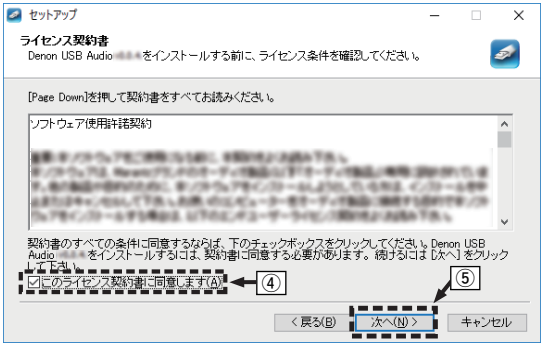
① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
② “OK”をクリックする。



③ ウィザードメニューが表示されたら “次へ(N)”をクリックする。

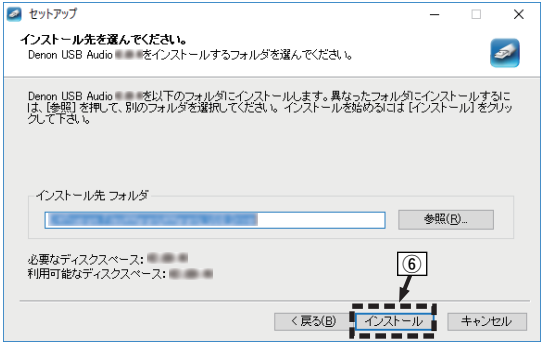


④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)”を選ぶ。
⑤ “次へ(N)”をクリックする。

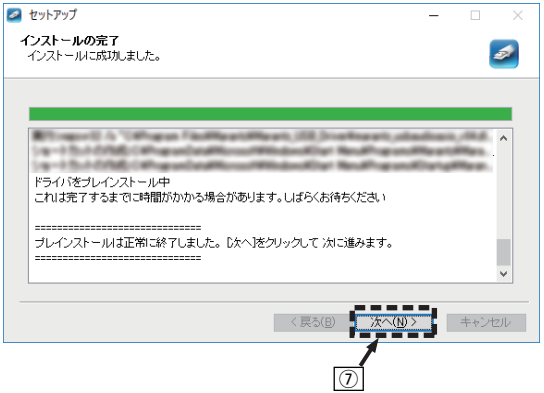


⑥ インストール開始ダイアログの“インストール”をクリックする。

- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



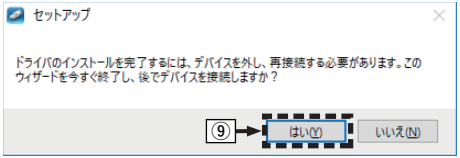
⑦ “次へ(N)”をクリックする。



⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



⑨ “はい(Y)”をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(市販)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンまたは Mac と接続する」(☞27 ページ)をご覧ください。

6 POWER ⏻ を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

8 インストールしたドライバーを確認する。

① パソコンの“コントロールパネル”を開く。
- コントロールパネルの設定一覧を表示します。

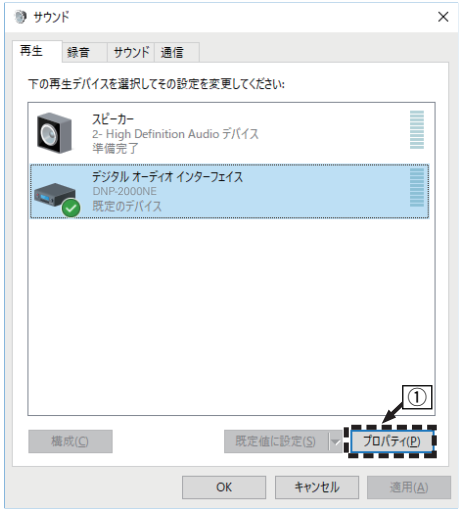
② “サウンド”をクリックする。
- サウンドメニュー画面を表示します。

③ “再生”タブの“DNP-2000NE”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DNP-2000NE”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

9 音声出力を確認する。

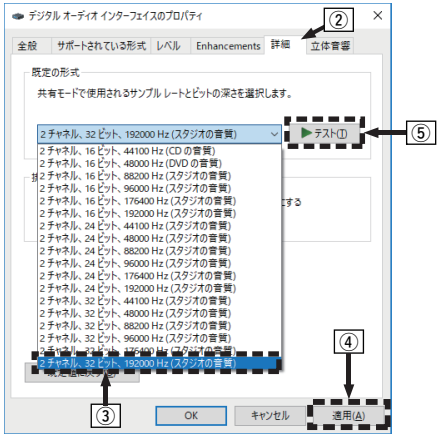
パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

① サウンドメニュー画面の“DNP-2000NE”を選び、“プロパティ(P)”をクリックする。
- プロパティ画面を表示します。



② “詳細”タブをクリックする。
③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
- “2 チャンネル、32 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします。

④ “適用(A)”をクリックする。
⑤ “テスト(T)”をクリックする。
- 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。



- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO(Audio Stream Input Output)ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、**https://www.denon.jp/ja-jp/support/home** の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

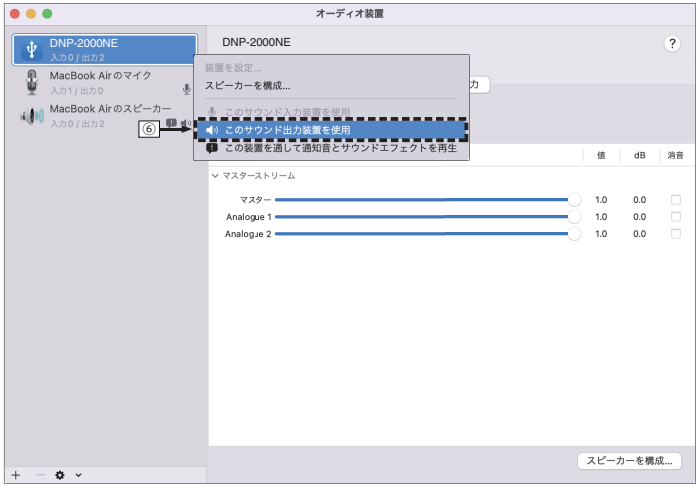
■ オーディオ装置の確認（macOS のみ）

① 本機の電源をオフにしたまま、本機と Mac を USB ケーブル（市販）で接続する。
- 接続のしかたは「パソコンまたは Mac と接続する」をご覧ください。(☞27 ページ)

② POWER ⏻ を押す。
③ USB-DAC を押して入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。
④ パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
- ユーティリティの一覧を表示します。

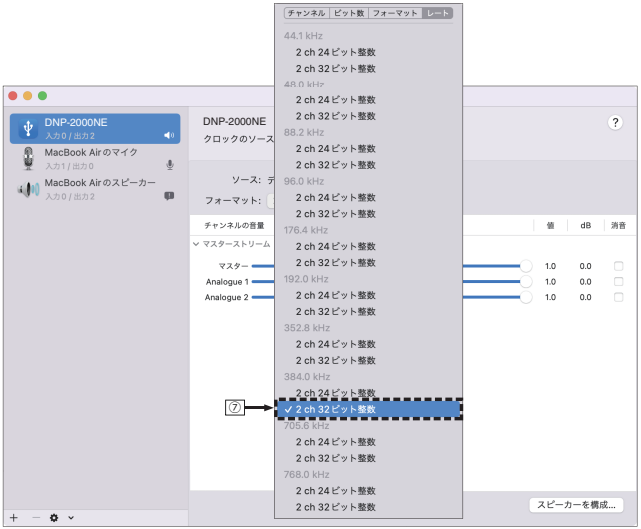
⑤ “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
- “オーディオ装置”画面を表示します。

⑥ “DNP-2000NE”に、“このサウンド出力装置を使用”のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DNP-2000NE”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



⑦ “DNP-2000NE”のフォーマットを選ぶ。

- “2 ch 32 ビット整数 384.0 kHz”に設定することをおすすめします。



⑧ Audio MIDI 設定を終了する。

■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(☞27 ページ)

1 USB-DAC を押して入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。

■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(☞130 ページ)をご覧ください。

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続をはずすと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続をはずしてください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。
App ストア、Google Play ストアまたは Amazon アプリストアで“HEOS”を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。









- HEOS アプリの仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

HEOS アカウント

HEOS アカウントは、本機の設定メニューの“HEOS アカウント”(☞102 ページ)で登録するか、HEOS アプリの“ホーム”タブ – “設定”アイコン をタップして登録してください。

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。

■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聞くときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ホーム”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスするときに、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。HEOS アプリの案内に従って操作を完了してください。

■ HEOS アカウントを変更する

1. “ホーム”タブをタップする。
2. 画面右上の設定アイコン をタップする。
3. 画面右上のアカウントアイコン をタップする。
4. 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。

ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

ご注意

- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なります。製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

■ 再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

1 “ルーム”タブをタップする。複数の HEOS 機能搭載機器がある場合は、“Denon DNP-2000NE”を選ぶ。



- 画面右上の“編集”をタップすると編集モードになり、表示名を変更することができます。

■ 音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ホーム”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。

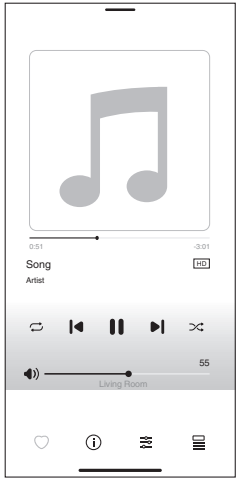
- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。



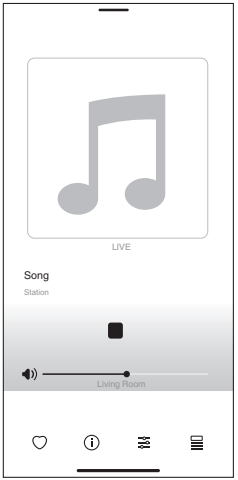
2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生中”画面に切り替わります。

音楽ファイル



ストリーミング



- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、本機の電源は自動的にオンになります。(「ネットワーク制御」(☞96 ページ))

同じ音楽を複数の部屋で聴く

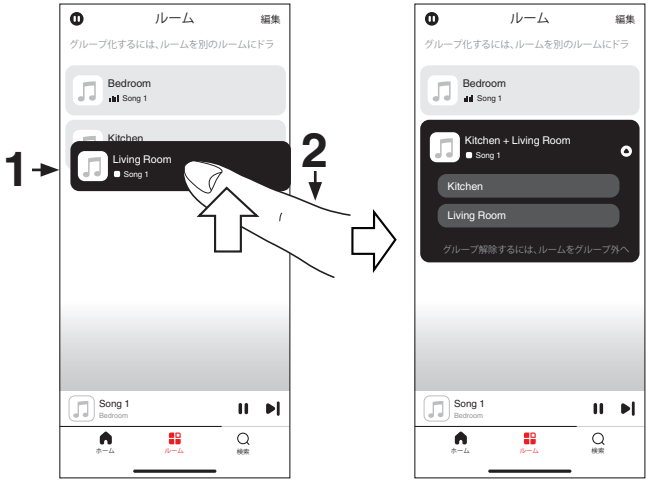
このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期できます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドを得ることができます。このシステムでは最大 32 台の機器を簡単に追加できます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生できます。

■ 部屋をグループ化する

1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままに)する。

2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。

3 2 つの部屋が 1 つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽を再生する。



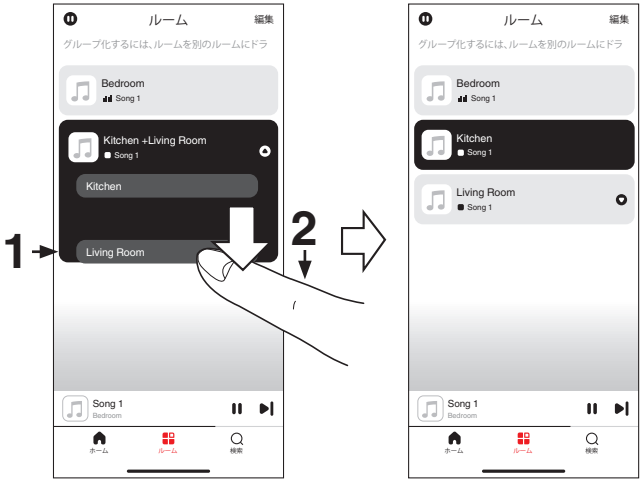
■ 部屋のグループ化を解除する

1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままに)する。

2 グループの外にドラッグして、指を離す。

ご注意

- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除できません。



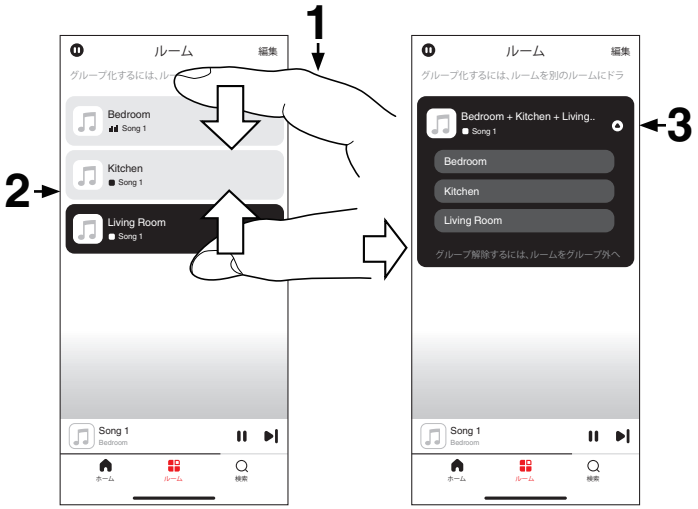
■ すべての部屋をグループ化する（パーティーモード）

ピンチジェスチャーを使用して、最大 16 の部屋をグループ化できます。

1 部屋のリスト上の画面に2本の指を置く。

2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。

3 すべての部屋をグループ化し、同じ音楽がすべての部屋で再生する。



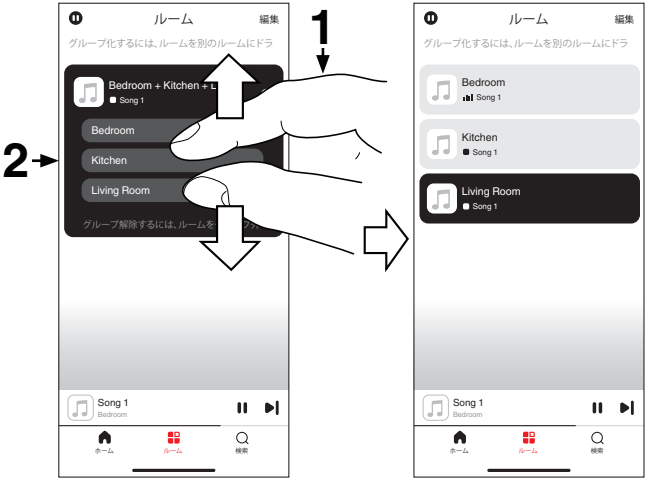
■ すべての部屋のグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使用して、すべての部屋のグループ化を解除できます。

1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。

2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。

3 すべての部屋のグループ化を解除する。



AirPlay機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。

- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- iTunes の使用方法は、iTunes の “ヘルプ” をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

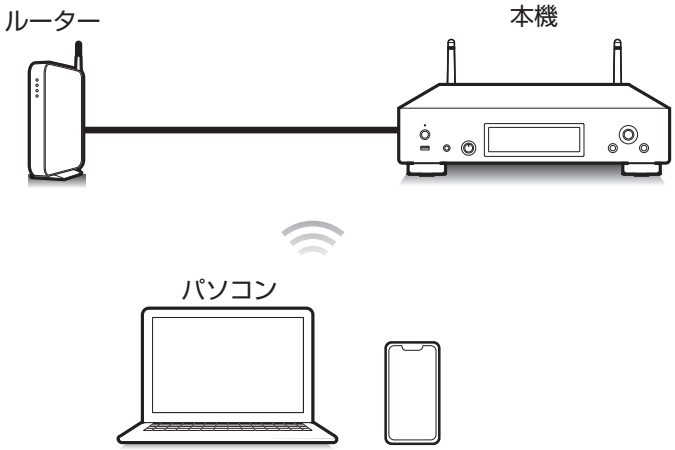
ご注意

- AirPlay 機能を使用して再生する場合は、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes で設定している音量で出力します。
  再生する前に、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes の音量を最小にしてから適切な音量に調節してください。

本機は AirPlay 2 対応製品です。

複数の AirPlay 2 に対応したデバイスやスピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。

- 本機は AirPlay 2 対応製品です。iOS 11.4 以降に対応している必要があります。



iPhone、iPod touch、iPadの曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPadをiOS 10.0.2以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPadの曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

1 **iPhone、iPod touchまたはiPadのWi-Fi設定を本機と同じネットワークに接続する。**

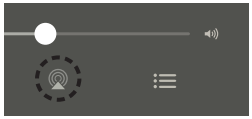
- 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **iPhone、iPod touch、iPadの曲を再生する。**

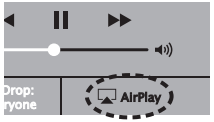
iPhone、iPod touchまたはiPadの画面にAirPlayアイコンを表示します。

3 **AirPlayアイコンをタップして、本機を選ぶ。**

【例】iOS 15



【例】iOS 10



iTunesの曲を本機で再生する

1 **本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes10以降をインストールする。**

2 **iTunesを起動し、AirPlayアイコンをクリックして、本機を選ぶ。**

【例】iTunes



3 **iTunesで曲を選び、再生する。**

本機で再生をはじめます。

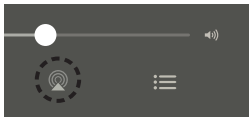
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、iTunesの操作で本機の電源をオンにできます。(☞96ページ)

iPhone、iPod touch、iPad の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)

iPhone、iPod touch、iPad が iOS 11.4 以上の場合、iPhone、iPod touch、iPad の曲を AirPlay 2 対応の複数の機器で同期して再生することができます。

1 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。

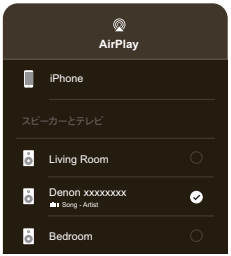
iPhone、iPod touch または iPad の画面に AirPlay アイコンを表示します。



2 AirPlay アイコンをタップして、本機を選ぶ。

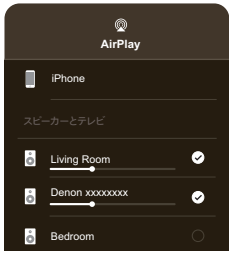
同一ネットワーク上で再生可能な機器/スピーカーの一覧を表示します。

- AirPlay 2 対応の機器名には右側に丸い印が表示されます。



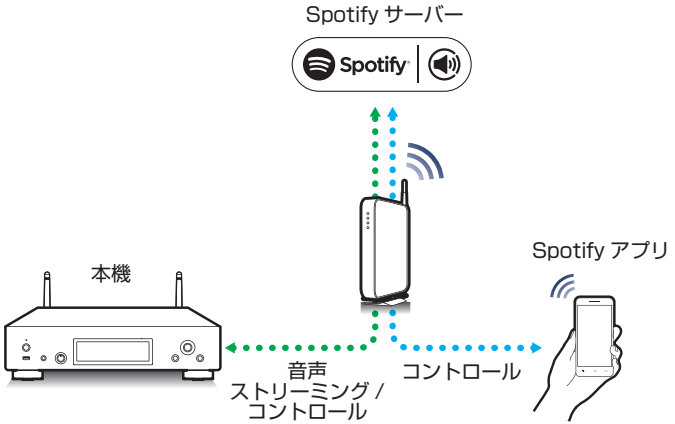
3 再生したい機器/スピーカーをタップする。

- AirPlay 2 対応機器は複数台選ぶことができます。



Spotify Connect機能

Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント（有料）に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。
スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。
詳しくは、**www.spotify.com/jp/connect** をご覧ください。
Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。
www.spotify.com/connect/third-party-licenses



Spotify の曲を本機で再生する

あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に “Spotify アプリ” をダウンロードしてください。

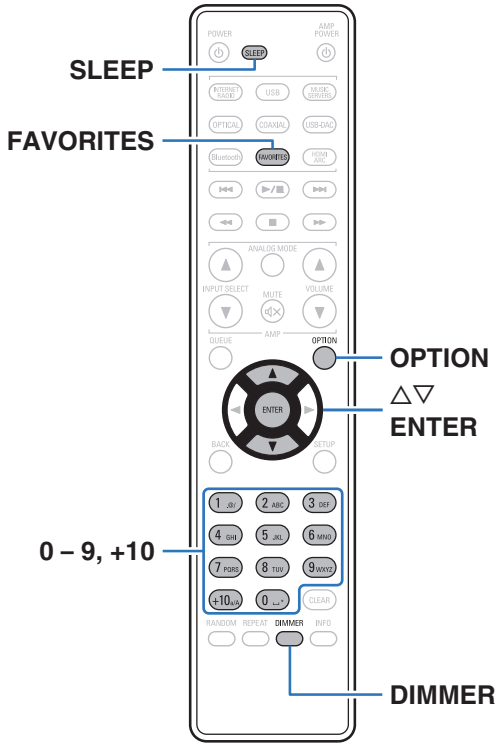
1 **iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。**

2 **Spotify アプリを起動する。**

3 **Spotify の曲を再生する。**

4 **Spotify アイコン をタップして、本機を選ぶ。**
本機で再生をはじめます。

便利な機能



- ここでは、各入力ソースで使用できる便利な機能の操作方法を説明します。
- “HEOS お気に入り”に関する操作は、アプリを使用するとより便利におこなえます。アプリの入手方法については、「HEOS アプリをダウンロードする」(☞62 ページ)をご覧ください。

HEOS お気に入りに追加する

この機能はストリーミング配信のコンテンツにのみはたらきます。

1 **コンテンツの再生中に OPTION を押す。**
オプションメニューを表示します。

2 **△▽ を押して“HEOS お気に入りに追加”を選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して“HEOS お気に入り”に登録したい番号を選び、ENTER を押す。**

HEOS お気に入りを再生する

1 **FAVORITES を押す。**
“HEOS お気に入り”を表示します。

2 **△▽ を押して再生したいコンテンツを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して“すぐに再生”を選び、ENTER を押す。**

- 0～9、+10 を使用して、HEOS お気に入りから再生したいコンテンツを選択することもできます。

HEOS お気に入りを削除する

1 **FAVORITES を押す。**
“HEOS お気に入り”を表示します。

2 **HEOS お気に入りリスト表示中に △▽ を押して、HEOS お気に入りリストから削除したい項目を選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して“HEOS お気に入りから削除”を選び、ENTER を押す。**

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 **DIMMER を押す。**

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにします。音楽などを聴きながらおやすみになるときに便利です。

1 **再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。**

- 設定時間は 10 分間隔で最大 90 分まで選択できます。
- 約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

■ スリープタイマーを解除する

1 **SLEEP を押して “Sleep ▶ オフ” を選ぶ。**

- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーを設定した状態で SLEEP を押すと、スリープタイマーが動作するまでの残り時間を表示します。

設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
お買い上げ時の設定はおすすめの設定にしてあります。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズできます。

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
オーディオ	ライン出力レベル	アンプを接続する端子(VARIABLE または FIXED)に合わせて設定します。	86
	音量の上限	アナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量の上限を設定します。	86
	H/P アンプゲイン	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。ご使用のヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定することで、ヘッドホン再生を適切な音量でお楽しみいただけます。	86
テレビ	テレビ入力	テレビの音声を本機で再生するときに設定します。	87
	HDMI パワーオフコントロール	テレビの電源オフ操作に連動して本機の電源がスタンバイになる、“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。	88

設定項目	詳細項目	内容/詳細項目	参照ページ
一般	言語	ディスプレイに表示する言語を設定します。	89
	オートスタンバイ	未使用時、本機の電源を自動的にスタンバイにします。	89
	電源オン連動	本機に接続した Denon 製アンプの電源が、本機の電源オン操作に連動してオンになる、“電源オン連動”機能の設定をします。	89
	使用状況の送信設定	お客様の使用状況の情報を当社へ送信するかしないかの設定をします。	89
	ファームウェア	ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデートとアップグレードの通知メッセージを表示するかしないかを設定します。	90
		アップデートの確認	90
		自動アップデート	90
		アップデートの許可	91
		アップグレードのお知らせ	91
		新機能の追加	92
	情報	お知らせの確認 また、電源をオンにしたときにお知らせを表示するかしないかを設定します。	93
		お知らせの表示	93
		お知らせの確認	93
	リセット	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。	93

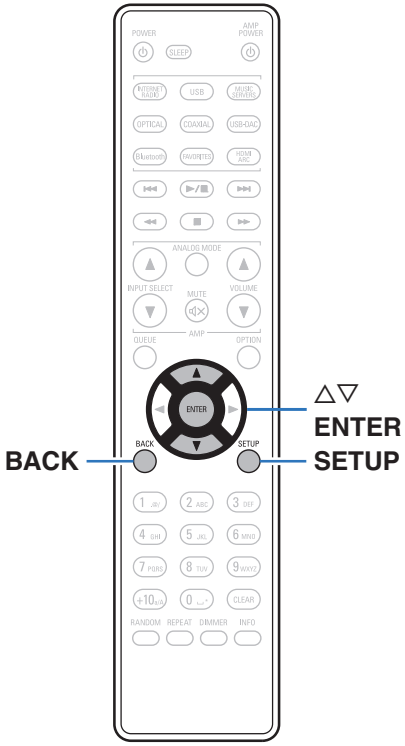
設定項目	詳細項目		内容/詳細項目	参照ページ
ネットワーク	ネットワーク情報		ネットワークの各種情報を表示します。	94
	ネットワーク& USB-A		ネットワークおよび USB 再生(USB-A)機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	94
	Wi-Fi		Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	94
	Bluetooth		Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。Bluetooth 送信の設定をします。	95
	ネットワーク制御		スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。	96
	フレンドリ名		ネットワーク上に表示される名前を編集します。	96
	接続		ホームネットワーク(LAN)に有線 LAN で接続するか、無線 LAN で接続するかを設定します。	97
		Wi-Fi	無線 LAN(Wi-Fi)機能を使用して、ネットワークに接続します。	97
			自動検索	97
			iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有	98
			WPS ルーター	98
			マニュアル	99
		有線	LAN ケーブルを使用して、ネットワークに接続します。	97

設定項目	詳細項目	内容/詳細項目	参照ページ
ネットワーク	接続の設定	IP アドレスを手動で設定します。	100
		DHCP	100
		IP アドレス * 1	100
		サブネットマスク * 1	100
		ゲートウェイ * 1	100
		DNS * 1	100
		保存	100
	診断	ネットワークの接続を確認します。	101
		ケーブル接続 * 2	101
		ルーターアクセス	101
		インターネットアクセス	101
	AirPlay	Apple AirPlay 機能を設定します。	101
		AirPlay ネーム	101
		AirPlay	101

*1　“DHCP”の設定が“オフ”のときに表示します。

*2　無線 LAN で接続している場合は、“接続 無線(Wi-Fi)”を表示します。

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
HEOS アカウント	【HEOS アカウントでサインインしていない場合】		
	既にアカウントをもっている	HEOS アカウントにサインインします。	102
	アカウントを作成する	新規に HEOS アカウントを作成します。	102
	パスワードを再設定する	パスワードを忘れた場合、新しいパスワードの設定方法を E メールでお知らせします。	102
	【HEOS アカウントでサインインしている場合】		
	サインイン中	サインインしているアカウントを表示します。	102
	地域を変更	お住まいの地域を選択します。	102
	パスワードを変更	HEOS アカウントのパスワードを変更します。	102
	アカウントを削除	HEOS アカウントを削除します。	102
	サインアウト	HEOS アカウントからサインアウトします。	102
かんたん設定	–	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。操作のしかたについては、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。	–



設定メニューの操作のしかた

1 **SETUP を押す。**
ディスプレイに設定メニューを表示します。

2 **△▽ を押して設定または操作したい設定メニューを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して、お好みの設定に変更する。**

4 **ENTER を押して、設定を確定する。**
- 前の項目に戻るときは、BACK を押してください。
- 設定メニューを終了するときは、設定メニュー表示中に SETUP を押してください。通常表示に戻ります。

文字入力

本機は、次の画面に表示する名前をお好みに合わせて変更できます。

- フレンドリ名 (☞96 ページ)
- ネットワーク機能に関する文字入力

数字ボタンで入力する

1 **文字の入力をおこなう画面を表示する。**

- 文字を変更する場合は、◁▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 **+10 を押して文字の種類(大文字、小文字、発音記号付きの文字、数字)を切り替える。**

3 **入力したい文字が表示されるまで、0〜9、+10 を押す。**

- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

1 .@/	1 . @ - _ / :
2 ABC	a b c A B C 2 ä à á â ã å æ ć ç č Ä À Á Â Ã Å Æ Ć Ç Č
3 DEF	d e f D E F 3 ð ë è é ê Ð Ë È É Ê
4 GHI	g h i G H I 4 ï ì í î Ï Ì Í Î
5 JKL	j k l J K L 5
6 MNO	m n o M N O 6 ñ ö ò ó ô õ ø Ñ Ö Ò Ó Ô Õ Ø
7 PQRS	p q r s P Q R S 7 ß ŕ ř ś ş š ß Ŕ Ř Ś Ş Š
8 TUV	t u v T U V 8 ü ù ú û Ü Ù Ú Û
9 WXYZ	w x y z W X Y Z 9 ý ź ž þ Ý Ź Ž Þ
0 ␣	0 (空白) ! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? [\ ] ^ ` { | } ¡ ¢ £ ¤ § © « ¯ ° ± » ¿

4 **手順 2、3 をくり返して文字を入力し、ENTER を押して確定する。**

カーソルボタンで入力する

1 **文字の入力をおこなう画面を表示する。**

- 文字を変更する場合は、◁ ▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 **△▽ を押して文字を切り替える。**

- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【小文字】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【大文字】
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【記号】
! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @
[\ ] ^ _ ` { | } ~ ¡ ¢ £ ¤ § © « ¯ ° ± » ¿
【小文字（発音記号付き）】
äàáâãåæçčðëèéêïìíîñöòóôõøßřšşšüùúûýźžþ
【大文字（発音記号付き）】
ÄÀÁÂÃÅÆĆÇČÐËÈÉÊÏÌÍÎÑÖÒÓÔÕØŘŘŚŞŠÜÙÚÛÝŹŽÞ
【数字】
0123456789 （空白）

3 **手順 2 をくり返して文字を入力し、ENTER を押して確定する。**

- CLEAR を押すと、選択中の文字を消去できます。
- CLEAR を 3 秒以上長押しすると、すべての文字を消去できます。
- スペースを入れるときは、▶▶| を押してください。

オーディオ

音声に関する設定をします。

ライン出力レベル

アンプを接続する端子(VARIABLE または FIXED)に合わせて設定します。本機と Denon 製アンプを IR コントロール接続してお使いになる際の設定です。(☞31 ページ)

可変出力 (お買い上げ時の設定):	“電源オン連動”機能を使用した際に、Denon 製アンプの入力ソースを “EXT.PRE” に切り替えます。HEOS アプリやテレビのリモコン(HDMI コントロール機能)で本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量を調節します。
固定出力:	“電源オン連動”機能を使用した際に、Denon 製アンプの入力ソースを “NETWORK” に切り替えます。HEOS アプリやテレビのリモコン(HDMI コントロール機能)で本機に接続された Denon 製アンプの音量を調節します。

音量の上限

アナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量の上限を設定します。

オフ (お買い上げ時の設定):	音量の上限を設定しません。(100 (+6dB))
40 - 95 (-54dB - +1dB)	

H/P アンプゲイン

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は “低” 側に、高い場合は “高” 側に設定することをおすすめします。

高:	ヘッドホンアンプのゲインを “高” に設定します。ゲイン設定を “中” にしても、音量が足りない場合に設定してください。
中 (お買い上げ時の設定):	ヘッドホンアンプのゲインを “中” に設定します。
低:	ヘッドホンアンプのゲインを “低” に設定します。お買い上げ時の設定では音量が大きいと感じる場合に設定してください。

ご注意

- H/P アンプゲインの設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか消音にしてからおこなってください。

テレビ

テレビ入力

テレビの音声を本機で再生するときに設定します。テレビの電源オン操作に連動して本機の電源がオンになり、自動的に入力ソースを“HDMI ARC”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替えて、テレビの音声を本機で再生できます。

■ デフォルト入力

本機でテレビの音声を再生するときの入力ソースを設定します。テレビとの接続に使用する端子に合わせて設定してください(HDMI ARC、OPTICAL 1、OPTICAL 2 または COAXIAL)。

無し / HDMI Out (ARC) / Optical In 1 / Optical In 2 / Coaxial In(お買い上げ時の設定:HDMI Out(ARC)

■ 自動再生

本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを“デフォルト入力”で設定した入力ソースに切り替えて、テレビの音声を本機で再生する自動再生機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	自動再生機能を有効にします。
オフ:	自動再生機能を無効にします。

- “デフォルト入力”を“無し”に設定している場合は、自動再生機能ははたらきません。あらかじめ“デフォルト入力”の設定をおこなってください。
- 本機の OPTICAL 1/2 入力端子および COAXIAL 入力端子から入力された音声信号のサンプリング周波数が 88.2kHz 以上の場合、自動再生機能がはたらきません。テレビは一般的に 48kHz の音声信号を出力しますので自動再生機能がはたらきますが、88.2kHz 以上の音声信号を出力する機器を接続すると自動再生機能がはたらかない場合があります。

HDMI パワーオフコントロール

HDMI 接続しているテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がスタンバイになる“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。

すべて （お買い上げ時の設定）:	本機の入力ソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。
HDMI ARC:	入力ソースが HDMI ARC のときにテレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。
オフ:	本機はテレビの電源に連動しません。

一般

言語

ディスプレイに表示する言語を設定します。

日本語 / English(お買い上げ時の設定:日本語)

オートスタンバイ

入力信号がない状態で本機を操作しないときに、本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。

オフ (お買い上げ時の設定):	本機を自動的にスタンバイ状態にしません。
1 分:	約 1 分後に本機をスタンバイ状態にします。
5 分:	約 5 分後に本機をスタンバイ状態にします。
15 分:	約 15 分後に本機をスタンバイ状態にします。
その他:	1〜99 分の間で本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。0〜9、+10 ボタンを使用して時間を設定したあと、ENTER ボタンを押して設定を確定します。

電源オン連動

本機に接続した Denon 製アンプの電源が、本機の電源オン操作に連動してオンになる、“電源オン連動”機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	電源オン連動します。
オフ:	電源オン連動しません。

使用状況の送信設定

当社は今後の製品の改善のために、本機の設定状況や機能の使用状況に関する情報の送信をお願いしております。お客様から送信される情報は今後の製品開発の参考にさせていただきます。

この情報は、当社の製品改善目的のためにのみ利用させていただき、第三者へ提供することは決して致しません。

はい:	本機の使用状況を情報提供します。
いいえ:	本機の使用状況を情報提供しません。

ファームウェア

アップデートやアップグレードについて、ファームウェアの最新情報の確認や更新を実施します。また、アップグレードの通知メッセージ表示の設定をします。

■ アップデートの確認

ファームウェアのアップデートがあるかを確認します。

アップデート可能なファームウェアがリリースされている場合は、アップデートを実行できます。

今すぐ行う:	アップデートを実行します。アップデート中は、ディスプレイに進行状況を表示します。
後で:	あとでアップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。アップデートできない場合には、ディスプレイに“Update Error”を表示します。アップデートのエラーメッセージについては、「故障かな？と思ったら」 - 「アップデート/アップグレードエラーメッセージ」をご覧ください。(☞124 ページ)
  メッセージに従い環境の確認をおこなったうえで、再度アップデートしてください。
- この設定メニューは、“アップデートの許可”の設定が“オフ”のときは選択できません。

■ 自動アップデート

本機がスタンバイ状態のときに、最新のファームウェアへ自動的に更新します。

❑ 自動アップデート

本機がスタンバイ状態のときに、最新のファームウェアへ自動的に更新します。

オン:	自動でアップデートします。
オフ (お買い上げ時の設定):	自動でアップデートしません。

❑ タイムゾーン

タイムゾーンを変更します。

お住まいの地域にあったタイムゾーンを設定してください。

- この設定メニューは、“アップデートの許可”の設定が“オフ”のときは選択できません。

■ アップデートの許可

本機のアップデートおよびアップグレードを有効または無効に設定します。

オン （お買い上げ時の設定）:	アップデートおよびアップグレードを有効にします。
オフ:	本機のアップデートおよびアップグレードを無効にします。

- 設定を“オフ”にすると、他の HEOS 機器や HEOS アプリとの互換性に問題が生じる場合があります。

■ アップグレードのお知らせ

最新のファームウェアのアップグレードが可能な場合は、電源をオンにしたとき本機のディスプレイに通知メッセージを表示します。
通知メッセージは、電源をオンにしたときに約 40 秒間表示します。

オン （お買い上げ時の設定）:	アップグレードの通知を表示します。
オフ:	アップグレードの通知を表示しません。

- この設定メニューは、“アップデートの許可”の設定が“オフ”のときは選択できません。

■ 新機能の追加

本機にダウンロード可能な新機能が表示され、アップグレードします。

アップグレードパッケージ:	アップグレードする項目を表示します。
アップグレード ID:	お手続きの際に必要になる ID 番号を表示します。
アップグレードステータス:	アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
アップグレード開始:	アップグレードを実行します。 アップグレード中は、ディスプレイに経過時間を表示します。

- “アップデート”および“新機能の追加”に関する情報は、当社ホームページなどで告知する予定です。アップグレードをご利用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
- お手続きが完了すると、この設定メニューに“登録完了”と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“未登録”を表示します。
- アップグレードに失敗した場合には、ディスプレイに“Upgrade Error”を表示します。アップグレードのエラーメッセージについては、「故障かな？と思ったら」 - 「アップデート/アップグレードエラーメッセージ」をご覧ください。(☞124 ページ)
  この場合は、ネットワーク環境を確認し、再度アップデートしてください。
- この設定メニューは、“アップデートの許可”の設定が“オフ”のときは選択できません。

“アップデート”および“新機能の追加”をおこなうときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットに接続できる環境と設定が必要です。(☞29 ページ)
- アップデートやアップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデートやアップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデートやアップグレードを開始すると、完了するまで通常の操作ができなくなります。また、本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータがリセットされる場合があります。
- アップデートやアップグレード中に更新が失敗した場合は、本体の ⏻ ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。約 1 分後、ディスプレイに“Please wait”を表示し、更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

情報

■ お知らせの表示

電源をオンにしたときにお知らせを表示するかしないかを設定します。

オン（お買い上げ時の設定）:	通知メッセージを表示します。
オフ:	通知メッセージを表示しません。

■ お知らせの確認

お知らせを表示します。

リセット

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。

お買い上げ時の設定に戻す:	リセットします。
中止する:	リセットしません。

ネットワーク

本機をホームネットワーク(LAN)に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。
DHCP でホームネットワーク(LAN)を構築している場合は、"DHCP"を"オン"に設定します。(お買い上げ時の設定のまま使用してください。)これにより、ホームネットワーク(LAN)を使用できるようになります。
各機器に IP アドレスを手動で割り当てている場合は、"IP アドレス"の設定で本機に IP アドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワーク(LAN)に関する情報を入力する必要があります。

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / 接続 / SSID (Wi-Fi 電波強度) / DHCP / IP アドレス / MAC アドレス (イーサネット) / MAC アドレス (Wi-Fi)

ネットワーク& USB-A

ネットワークおよび USB 再生(USB-A)機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。D/A コンバーター機能をご使用のときに、高音質な再生ができます。

有効 (お買い上げ時の設定):	ネットワークおよび USB 再生(USB-A)機能を有効にします。
無効:	ネットワークおよび USB 再生(USB-A)機能を無効にします。

Wi-Fi

Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。有線 LAN を使用して本機をネットワークに接続する場合に、高音質な再生ができます。

オン (お買い上げ時の設定):	Wi-Fi 機能をオンにします。
オフ:	Wi-Fi 機能をオフにします。

Bluetooth

■ Bluetooth

Bluetooth の受信機能と送信機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

オン (お買い上げ時の設定):	Bluetooth 機能をオンにします。
オフ:	Bluetooth 機能をオフにします。

■ ヘッドホン

Bluetooth ヘッドホン送信機能の有効/無効を設定します。
本機の音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くときにおこなう設定です。

オン	Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用します。
オフ (お買い上げ時の設定):	Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用しません。

■ デバイス

- 本機に接続したい Bluetoooth ヘッドホンがペアリングモードに入ると、使用可能な機器がデバイスリストに表示されます。リストから機器名を選択して本機とペアリングしてください。
- 本機に接続できる機器は 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth 機器を登録することができます。メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。
- 登録済みの機器をリストから削除したい場合は、△▽ ボタンを押して機器名を選択後、OPTION ボタンを押して“このデバイスの登録を解除”を選択してください。

- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth 送信機能と Bluetooth 受信機能を同時に使用することはできません。Bluetooth 機器で音楽を聴いている場合、Bluetooth 送信機能は使用できません。
- “ヘッドホン”を“オン”に設定していても、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に設定すると、Bluetooth 受信機能が有効になります。
  スマートフォンなどの Bluetooth 機器に保存されている音楽を本機で再生したい場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを Bluetooth に切り替えてから Bluetooth 機器と再接続してください。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、このメニューは使用できません。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時でも、ネットワーク機能を停止しません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時に、ネットワーク機能を停止します。

- HEOS アプリをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”を“オン”に設定してください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリ名

フレンドリ名とは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。お好みの名前に変更できます。

■ フレンドリ名

リストからフレンドリ名を選択します。
“その他”を選択すると、お好みのフレンドリ名に変更できます。

現在のフレンドリ名 / Home Theater / Living Room / Family Room / Guest Room / Kitchen / Dining Room / Master Bedroom / Bedroom / Den / Office / Denon DNP-2000NE / その他

- 30 文字まで入力できます。
- 文字の入力方法については、「文字入力」(☞84 ページ)をご覧ください。
- お買い上げ時のフレンドリ名は、“Denon DNP-2000NE”です。

接続

ホームネットワーク(LAN)に有線 LAN で接続するか、無線 LAN で接続するかを設定します。
有線 LAN でネットワークに接続する場合、LAN ケーブルを接続してから“有線”を選択してください。
無線 LAN でネットワークに接続する場合、“Wi-Fi”を選び、“Wi-Fi 設定”を設定してください。(☞97 ページ)

Wi-Fi:	無線 LAN(Wi-Fi)機能を使用して、ネットワークに接続します。
有線:	LAN ケーブルを使用して、ネットワークに接続します。

■ Wi-Fi 設定

無線 LAN(Wi-Fi)ルーターとの接続をおこないます。
ルーターとの接続には次の方法があります。ご家庭の環境に合わせて接続方法を選択してください。

- 設定メニューの“接続”を“有線”に設定した場合は、“Wi-Fi 設定”を設定メニューに表示しません。

❑ 自動検索

ディスプレイに表示された接続可能な無線ネットワークの一覧から、接続したいネットワークを選択します。

1. 無線ネットワークの一覧から、接続したいネットワークを選ぶ。
   見つからない場合は、“再スキャン”を選択してください。
2. パスワードを入力し、ENTER ボタンを押す。

❑ iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有

お手持ちの iOS デバイス（iPhone/iPod/iPad）を使用してネットワークに接続します。iOS デバイスと本機を接続することで、自動的に本機を同じネットワークに接続することができます。

1. ディスプレイで“iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有”を選ぶ。
2. iOS デバイスが無線 LAN（Wi-Fi）ルーターに接続していることを確認し、iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面の下部にある“新しい AIRPLAY スピーカーを設定...”から“Denon DNP-2000NE”を選ぶ。
3. iOS デバイスの画面で“次へ”をタップする。



- iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 7 以降に対応している必要があります。

❑ WPS ルーター

プッシュボタン方式の WPS に対応したルーターを使用してください。

1. ディスプレイで“WPS ルーター”を選ぶ。
2. 接続したいルーターの WPS ボタンを押して、WPS モードにする。
   - ボタンを押す時間はルーターによって異なります。
3. 2 分以内に ENTER ボタンを押す。

❑ 手動設定

接続したいネットワーク名(SSID)やパスワードを入力して接続します。

1. 次の項目を設定する。

SSID:	無線ネットワーク名(SSID)を入力します。
セキュリティ:	ご使用のアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選択します。
パスワード:	パスワードを入力します。

2. 設定が終わったら“接続を開始”を選ぶ。

- 無線 LAN 対応のパソコンやタブレットから、本機の無線 LAN(Wi-Fi)の設定をおこなうこともできます。
  1. 本機の電源が入っているときに、本体の SOURCE と BACK を 3 秒以上長押しする。
  2. ディスプレイに “Wi-Fi 機器の Wi-Fi ネットワーク一覧から、“Denon DNP-2000NE”を選んでください。”と表示されたら、ご使用のパソコンやタブレットの無線 LAN を“Denon DNP-2000NE”に接続する。
  3. ブラウザを起動し、URL に“192.168.1.16/settings/”を入力する。
  4. ブラウザを使用して設定を入力し、“Save Settings”を選び、設定を終了する。
- WEP で暗号化されているネットワークに接続する場合は、ルーターのデフォルトキーの設定を“1”にしてご使用ください。本機のデフォルトキーは“1”に固定しています。

接続の設定

IP アドレスを設定します。

- ブロードバンドルーター(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定で DHCP 機能が“オン”になっていますので、IP アドレスなどネットワーク接続に必要な情報を自動で設定します。
- DHCP 機能のないネットワークに接続する場合や固定 IP アドレスを割り当てる場合のみ、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS サーバーの情報を設定してください。

■ DHCP

ネットワークへの接続方法を選択します。

オン (お買い上げ時の設定):	ご使用のルーターから自動的にネットワークの設定をします。
オフ:	手動でネットワークの設定をします。

■ IP アドレス

入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外の IP アドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。
  CLASS A:10.0.0.1～10.255.255.254
  CLASS B:172.16.0.1～172.31.255.254
  CLASS C:192.168.0.1～192.168.255.254

■ サブネットマスク

xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 を入力します。

■ ゲートウェイ

ゲートウェイ(ルーター)に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

■ DNS

プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスを入力してください。

■ 保存

設定を保存します。

- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください。(☞29 ページ)
- インターネットの接続についてわからない場合は、ISP(Internet Service Provider)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

診断

ネットワークの接続を確認します。

■ ケーブル接続

LAN ポートの接続の確認をします。

OK	
エラー:	LAN ケーブルが接続されていません。接続を確認してください。

- 無線 LAN で接続している場合は、“接続　無線(Wi-Fi)”を表示します。

■ ルーターアクセス

本機からルーターまでの通信の確認をします。

OK	
エラー:	ルーターとの通信に失敗しました。ルーターの設定を確認してください。

■ インターネットアクセス

本機からインターネット(WAN)のアクセス可否の確認をします。

OK	
エラー:	インターネットへの接続に失敗しました。インターネットの接続環境またはルーターの設定を確認してください。

AirPlay

Apple AirPlay 機能を設定します。

■ AirPlay ネーム

Apple デバイスでの本機の識別名を表示します。

- 本機を Apple ホームアプリに登録した場合は、Apple ホームアプリを使用して名前を変更してください。

■ AirPlay

Apple AirPlay 機能を有効/無効にします。

オン (お買い上げ時の設定):	Apple AirPlay 機能を有効にします。
オフ:	Apple AirPlay 機能を無効にします。

HEOS アカウント

HEOS アカウントに関する設定をします。
HEOS アカウントは、HEOS お気に入りを使用するために必要です。
表示される設定メニューは、HEOS アカウントでサインインしているかどうかによって異なります。

サインインしていない場合

■ 既にアカウントをもっている

HEOS アカウントをすでに持っている場合は、既存のアカウントとパスワードを入力してサインインします。

■ アカウントを作成する

もし HEOS アカウントを持っていない場合は、新規に HEOS アカウントを作成します。

■ パスワードを再設定する

パスワードを忘れた場合、新しいパスワードの設定方法を E メールでお知らせします。

サインインしている場合

■ サインイン中

現在サインインしている HEOS アカウントを表示します。

■ 地域を変更

サインインしている HEOS アカウントの地域設定を変更します。

■ パスワードを変更

サインインしている HEOS アカウントのパスワードを変更します。

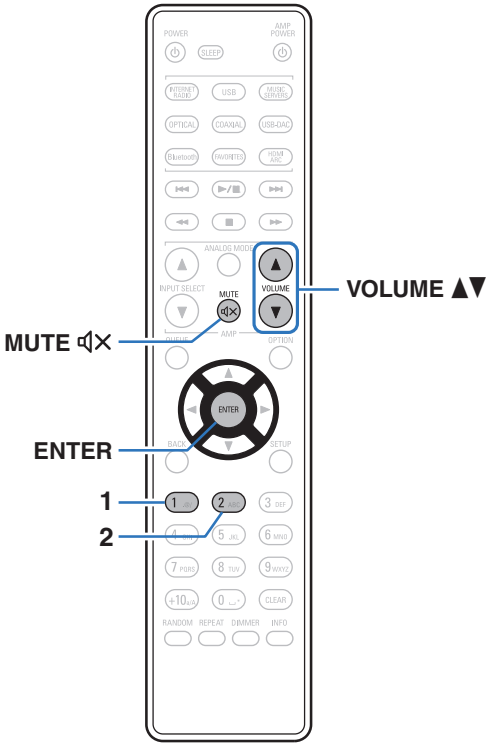
■ アカウントを削除

サインインしている HEOS アカウントを削除します。

■ サインアウト

HEOS アカウントからサインアウトします。

リモコンの音量調節ボタンの操作モードを設定する



付属のリモコンは、本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)にパワーアンプを接続してご使用の場合に、本機側で音量調節できるようにリモコン操作モードを切り替えることができます。また、リモコン操作モードには「アンプ操作モード」と「ネットワークオーディオプレーヤー操作モード」の 2 種類があります。アンプ操作モードでは、Denon 製アンプの音量を調節します。ネットワークオーディオプレーヤー操作モードでは、本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量を調節します。お買い上げ時の設定は、アンプ操作モードです。

- リモコン操作モードを設定したあとは、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。
- リモコン操作モードの切り替えは VOLUME ▲▼ と MUTE 🔇に対して有効です。
- リモコンから乾電池を取り外すとお買い上げ時の設定に戻ります。乾電池を交換した場合は、リモコン操作モードを再設定してください。

リモコンをネットワークオーディオプレーヤー操作モードに設定する

1 リモコンの ENTER と 2 を同時に 5 秒以上押す。

リモコンをアンプ操作モードに設定する

1 リモコンの ENTER と 1 を同時に 5 秒以上押す。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい 106
テレビの音声を高音質に再生したい 106
HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい 106
ディスプレイを消灯したい 106
電源オフ状態から簡単に操作したい 106
本機にパワーアンプを接続して使いたい 107
誤って音量が大きくならないようにしたい 107

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる 109
リモコンで操作ができない 110
本機のディスプレイが表示されない 110
音がまったく出ない 111
音が途切れたり、ノイズが入ったりする 112
希望する音が出ない 113
AirPlay 再生ができない 114
USB メモリーが再生できない 115
Bluetooth が再生できない 116
インターネットラジオが再生できない 119
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー) 120
各種オンラインサービスが再生できない 121
無線 LAN ネットワークに接続できない 121
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない(USB-DAC) 122
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/Coaxial/Optical) 123
入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替わる 123
HDMI コントロール機能がはたらかない 123
アップデート/アップグレードエラーメッセージ 124

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい

- ネットワークおよび USB メモリー再生(USB-A)機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“ネットワーク& USB-A”を“無効”に設定してください。(☞94 ページ)
- Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Wi-Fi”を“オフ”に設定してください。(☞94 ページ)
- Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。 設定メニューの“Bluetooth”を“オフ”に設定してください。(☞95 ページ)

テレビの音声を高音質に再生したい

- 本機の HDMI ARC 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応した HDMI 入力端子に接続してください。(☞21 ページ)
- ARC 機能に非対応のテレビや、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(☞23 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM です。

HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい

- “HDMI パワーオフコントロール”の設定を“オフ”にしてください。(☞88 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(☞77 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作したい

- ►/II ボタンを押すと、自動的に本機の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。
- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や HEOS アプリから起動と同時に再生操作ができます。(☞96 ページ)

本機にパワーアンプを接続して使いたい

- アナログ音声出力端子(VARIABLE)にパワーアンプを接続できます。設定メニューの“ライン出力レベル”を“可変出力”に設定し、リモコンの音量調節ボタンの操作モードをネットワークオーディオプレーヤー操作モードにすると、アナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量を本機のリモコン、テレビのリモコン(HDMI コントロール機能)および HEOS アプリで調節できます。(「ライン出力レベル」(☞86 ページ)、「リモコンの音量調節ボタンの操作モードを設定する」(☞103 ページ))

誤って音量が大きくならないようにしたい

- 設定メニューの“音量の上限”で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることなどを防ぎます。(☞86 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。
  ディスプレイに“Restart”が表示されるまで、本体の ⏻ ボタンを押し続けるか、本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(☞32 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の ⏻ ボタンを押すかリモコンの POWER ⏻ ボタンを押してください。(☞34 ページ)

電源が自動的に切れる。

- スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。(☞77 ページ)
- “オートスタンバイ”が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。(☞89 ページ)
- “HDMI パワーオフコントロール”が設定されています。HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。“HDMI パワーオフコントロール”を無効にするには、設定メニューの“HDMI パワーオフコントロール”を“オフ”に設定してください。(☞88 ページ)

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(☞9 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(☞9 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(☞9 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(☞77 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞19 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8kHz 以上のリニア PCM 信号のファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。
- ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。

パソコンの曲を再生中に音が途切れる。

- パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。
- お使いのパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。

携帯電話で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。

- 携帯電話を本機から 20cm 以上離して通話してください。

Wi-Fi 接続時に音が途切れる。

- 無線 LAN で使用する周波数帯域は、電子レンジ・コードレスフォン・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・その他の無線 LAN 機器で使用します。そのため、これらの機器と本機を同時に使用すると、電波干渉により音途切れが発生する場合があります。次の方法をおこなうと、音途切れが改善される場合があります。(☞29 ページ)
  - 干渉している機器を本機から離して設置する。
  - 干渉している機器の電源を切る。
  - 本機に接続しているルーターのチャンネル設定を変更する。(チャンネルの変更のしかたは、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
  - 有線 LAN 接続に切り替える。
- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。(☞97 ページ)

希望する音が出ない

音量が上がらない。

- アナログ音声出力端子（VARIABLE）から出力する音声信号の音量の上限値が低く設定されています。設定メニューの“音量の上限”で上限値を設定してください。(☞86 ページ)

ヘッドホンの音量が小さい。

- インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、設定メニューの“H/P アンプゲイン”の設定を“高”に切り替えてください。(☞86 ページ)

AirPlay 再生ができない

iTunes/iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコンが表示されない。

- 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク(LAN)に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。(☞29 ページ)
- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。
- 設定メニューの“ネットワーク& USB-A”を“有効”に設定してください。“ネットワーク& USB-A”が“無効”のときは、AirPlay 機能がはたらきません。(☞94 ページ)

音が出ない。

- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量と本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声の音量は連動しています。適切な値に設定してください。
- AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。(☞72 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。

- iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。
- 無線接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。

リモコンで iTunes の再生操作ができない。

- iTunes の“リモートスピーカーから iTunes のコントロールを許可する”の設定を有効にしてください。リモコンで再生/一時停止/スキップ操作ができます。

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直してください。(☞28 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを“FAT32”または“NTFS”に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。
- 設定メニューの“ネットワーク& USB-A”を“有効”に設定してください。“ネットワーク& USB-A”を“無効”に設定している場合は、USB 再生機能ははたらきません。(☞94 ページ)

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(☞129 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、1 階層あたり最大 5000 ファイル(フォルダ)です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティーションがある場合、先頭のパーティーションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(☞129 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

Bluetoothが再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧いただき、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”を“オン”に設定してください。“Bluetooth”を“オフ”に設定している場合は、Bluetooth 機能がはたらきません。(☞95 ページ)
- 設定メニューの“ネットワーク& USB-A”を“有効”に設定してください。“ネットワーク& USB-A”を“無効”に設定している場合は、Bluetooth 機能がはたらきません。(☞94 ページ)

スマートフォンなどの Bluetooth 機器と接続できない。

- “ヘッドホン”を“オン”に設定している場合は、スマートフォンなどの Bluetooth 機器を接続できません。リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器を接続してください。(☞95 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを接続できない。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- Bluetooth ヘッドホンの電源を入れ直してからお試しください。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定してください。(☞95 ページ)
- 本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されていないことを確認してください。設定メニューの“デバイス”設定で、Bluetooth ヘッドホンの接続状態を確認できます。(☞95 ページ)
  本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されている場合は、現在接続されている Bluetooth ヘッドホンを切断してから、使用したい Bluetooth ヘッドホンを接続してください。
- 入力ソースを Bluetooth に設定している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。Bluetooth ヘッドホンを使用する場合は、本機をグループから外してください。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- Bluetooth ヘッドホンが A2DP プロファイルに対応していない場合は、本機に接続することはできません。
- 著作権保護技術(SCMS-T)に対応した Bluetooth ヘッドホンのご使用をおすすめします。すべての Bluetooth 機器に対して接続や動作を保証するものではありません。
- 本機に接続できる Bluetooth ヘッドホンは 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth ヘッドホンを登録することができます。設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。(☞95 ページ)

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

Bluetooth ヘッドホンを使用すると音が途切れる、またはノイズが発生する。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- 本機と Bluetooth ヘッドホンの間にある障害物を取り除いてください。
- Bluetooth ヘッドホンを再接続してください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- 本機および他の機器のルーターへの接続は、有線 LAN 接続をおすすめします。
- Bluetooth は 2.4GHz 帯域を使用しており、Wi-Fi の 2.4GHz 帯域の電波と干渉する可能性があります。使用しているルーターの Wi-Fi が 5GHz 周波数帯域に対応している場合、本機および他の機器の Wi-Fi 接続を 5GHz 周波数帯域に変更してください。

Bluetooth ヘッドホンの音声が遅延する。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声遅延を調節することはできません。

インターネットラジオが再生できない

ラジオ局のリストが表示されない。

- LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。(☞29 ページ)
- ネットワークの診断モードをおこなってください。

インターネットラジオが再生できない。

- 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは WMA、MP3 と MPEG-4 AAC です。(☞133 ページ)
- ルーターのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。
- IP アドレスが正しく設定されていません。(☞100 ページ)
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- IP アドレスを自動で取得する場合は、ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の DHCP の設定を“オン”にしてください。(☞100 ページ)
- IP アドレスを手動で取得する場合は、本機の IP アドレスを設定してください。(☞100 ページ)
- 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。(☞37 ページ)
- ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。

お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。

- ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。

パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)

パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。

- ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。(☞132 ページ)
- 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- メディアの共有設定が正しくありません。本機がアクセスできるように設定を変更してください。詳しくはメディアの取扱説明書をご覧ください。

サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。

- パソコンまたはルーターのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルーターのファイアウォールの設定を確認してください。
- パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。
- サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。
- 本機の IP アドレスが正しくありません。本機の IP アドレスを確認してください。(☞94 ページ)

パソコン内や NAS 内のファイルが表示されない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(☞132 ページ)

NAS に保存した曲が再生できない。

- DLNA 準拠の NAS をご使用の場合は、NAS の設定で DLNA サーバー機能を有効にしてください。
- DLNA に準拠していない NAS をご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。また、Windows Media Player のメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダに NAS を追加してください。
- 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。

各種オンラインサービスが再生できない

各種オンラインサービスが再生できない。

- サービスが終了している可能性があります。

無線LANネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない。

- ネットワーク名(SSID)、パスワードおよび暗号化設定が正しく設定できていません。ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。(☞99 ページ)
- 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しをよくしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。
- 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。

WPS ルーターに接続ができない。

- ルーターの WPS モードが動作しているか確認してください。
- ルーターの WPS ボタンを押してから、2 分以内に ENTER ボタンを押してください。
- WPS2.0 規格に対応したルーター/設定が必要です。暗号化タイプを“無し”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。(☞98 ページ)
- ルーターの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、WPS ボタンを使用して接続することはできません。この場合は“自動検索”または“手動”の方法で接続してください。

iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。

- iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。
- また、無線接続で設定する場合は、iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。

スタンバイ中にネットワークに接続できない。

- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定してください。“ネットワーク制御”が“オフ”の場合、スタンバイ時にネットワーク機能を停止します。(☞96 ページ)

パソコン内やMac内の音楽ファイルが再生できない(USB-DAC)

パソコンで本機が認識されない。

- ご使用のパソコンのUSB端子にUSBケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別のUSB端子に挿してください。(☞27ページ)
- ご使用のパソコンを再起動してください。
- ご使用のパソコンのOSを確認してください。(☞52ページ)
- ご使用のパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。(☞53ページ)

再生デバイスとして本機が選択されていない。

- パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。(☞52ページ)

“入力無し”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。(☞60ページ)

“非対応です”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。(☞60ページ)
- ご使用のパソコンがmacOSの場合は、“Audio MIDI設定”で“DNP-2000NE”のフォーマットが“384.0kHz”以下に設定されているか確認してください。(☞59ページ)

デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/Coaxial/Optical)

“入力無し”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。(☞50 ページ)

“非対応です”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(☞50 ページ)
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを “PCM 2ch” に設定してください。

入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に切り替わる

本機に接続しているテレビの電源を入れると入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical 1”、“Optical 2”または“Coaxial”に自動的に切り替わる。

- 設定メニューの“自動再生”を“オフ”に設定してください。(☞87 ページ)

HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているテレビの HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

アップデート/アップグレードエラーメッセージ

アップデート/アップグレードが中断または失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ	内容
Connection failed. Please check your network, then try again.	ネットワークの回線が不安定です。 サーバーとの接続に失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Update failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Upgrade failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Please check your network, unplug and reconnect the power cord, and try again.	アップデートに失敗しました。 本体の ⏻ ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。 アップデート後は自動的に再起動します。
Please contact customer service in your area.	機器が故障している可能性があります。 お客様相談センターにお問い合わせください。

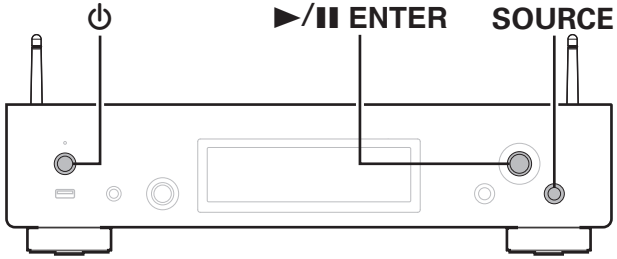
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す

ネットワークコンテンツの再生やネットワーク接続ができない場合に、本機を再起動すると、改善することがあります。お買い上げ時の設定に戻す前に、再起動することをおすすめします。(☞108 ページ)

再起動しても動作が改善しない場合に、この操作をおこなってください。

ネットワーク設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

ただし、設定メニューの“オーディオ”の設定は、リセットされません。



1 ⏻ を押して、本機の電源を入れる。

2 SOURCE を押して“Internet Radio”、“Music Servers”または“USB Music”を選ぶ。

3 本機の電源が入っているときに、本体の ►/II ENTER を押しながら ⏻ を 3 秒以上長押しする。

4 ディスプレイに“しばらくお待ちください”が表示されたら、2 つのボタンから指を離す。

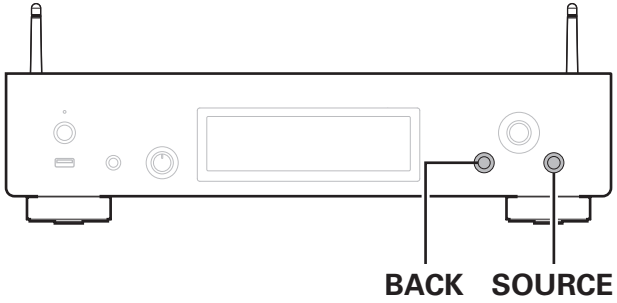
5 リセットが完了すると、ディスプレイに“完了しました”を表示する。

ご注意

- リセットが完了するまで、電源を切らないでください。

ファクトリーリストア

本機やネットワーク機能が正しく動作しない場合に、ファクトリーリストアをおこなうと改善できる場合があります。
設定メニューの“一般” - “リセット”を試しても動作しない場合にこの操作をおこなってください。(☞93 ページ)
ファクトリーリストアをおこなうと各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度ネットワーク設定およびファームウェアのアップデートをおこなってください。



警告

ファクトリーリストアを開始すると、本機に制限付きリカバリーファームウェアがインストールされます。インターネット経由でファームウェアのアップデートがおこなわれるまで、機能は制限されたままです。本機をネットワークに接続していない場合は、ファクトリーリストアをおこなわないでください。

1 **電源コードをコンセントから抜く。**

2 **BACK および SOURCE を押しながら、電源コードを差し込む。**

3 **ディスプレイに“Factory Restore”が表示されたら、ボタンから指を離す。**
ファクトリーリストアが完了するとディスプレイに“Factory Restore Completed”が約 5 秒間表示され、本機を自動的に再起動します。

- この操作はネットワークへの再接続、ファームウェアの復元およびアップデートを伴うため時間がかかります。
- この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- ファクトリーリストアが完了するまで、電源を切らないでください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料‥‥故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代‥‥修理に使用した部品代金です。
  その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料‥‥製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名·····取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号···保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	–	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	–	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	–	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(**http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0**)に基づいて配布されています。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目＼メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1	8 階層
フォルダ数	500
ファイル数 *2	5000

*1　制限数にはルートフォルダを含みます。

*2　USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

ご注意

- DSD ファイルを再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

D/A コンバーターについて

■ 再生できる音声信号の仕様

❑ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD（2 チャンネル）	2.8/5.6/11.2MHz	1 ビット
リニア PCM（2 チャンネル）	44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz	16/24/32 ビット

- DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

❑ HDMI ARC/Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM（2 チャンネル）	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	16/24 ビット

Bluetooth機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile):
  この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile):
  この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

パソコンやNASに保存されているファイルの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

  Twonky Media Server や jRiver Media Server などのサーバソフトウェアをネットワーク経由で再生するには、このオーディオフォーマットをパソコンや NAS にインストールする必要があります。利用可能な他のサーバーソフトウェアもあります。サポートされている形式を確認してください。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	-	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(**http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0**)に基づいて配布されています。

ご注意

- DSD ファイルを再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

インターネットラジオの再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48～192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.aac/ .m4a

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

HDMIについて

本機は次のHDMI機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**
  ARC機能対応のテレビと本機をHDMI接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。
- **HDMIコントロール機能**
  HDMIコントロール機能対応のテレビと本機をHDMI接続し、テレビのHDMIコントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。
  - 入力ソースの切り替え
    テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースがテレビに切り替わります。
  - 電源オフ連動
    テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。
  - 音量調節
    テレビのリモコンを使用して、本機のアナログ音声出力端子(VARIABLE)から出力する音声信号の音量を調節できます。
  - 音声出力先の切り替え
    本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。

- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。

用語の解説

■ 音声

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60～70%に圧縮されたデータは完全に元どおりのデータに再現できます。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の 1 つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、Δ-Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。
FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright(C)
2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。
この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone/iPod touch に収録されているコンテンツを、ネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-FiAlliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA(Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK（Pre-shared Key）

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

ネットワーク名（SSID: Service Set Identifier）

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID（ネットワーク名）」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ その他

ペアリング

ペアリング（登録）とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。
はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

登録商標について



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または 登録商標です。



Being Roon Ready means that Denon uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

主な仕様

■ オーディオ部

	[DSD]	[PCM]
• アナログ出力		
チャンネル:	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz～100kHz	2Hz～96kHz
再生周波数特性:	2Hz～50kHz(–3dB)	2Hz～50kHz(–3dB) (サンプリング周波数:192kHz) 2Hz～20kHz(±1dB) (サンプリング周波数:44.1kHz)
SN 比:	120dB(可聴帯域)	118dB(可聴帯域)
ダイナミックレンジ:	112dB(可聴帯域)	118dB(可聴帯域)
高調波歪率:	0.0006%(1kHz、可聴帯域)	0.0008%(1kHz、可聴帯域)
• 出力レベル		
アンバランス出力(FIXED):	2.2V(10kΩ)	2.2V(10kΩ)
アンバランス出力(VARIABLE):	4.5V(10kΩ、可変最大)	4.5V(10kΩ、可変最大)
ヘッドホン出力:	150mW/32Ω(ハイゲイン)	150mW/32Ω(ハイゲイン)
• デジタル出力		
同軸出力:	–	0.5Vp-p/75Ω
光出力:	–	–19dBm

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11a/b/g/n/ac に対応 (Wi-Fi®準拠)*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP)
使用周波数帯域:	2.4GHz、5GHz

*1　Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 5.4
送信出力	Bluetooth Specification Power Class 1
最大通信範囲:	見通し距離 約 30m *2
使用周波数帯域:	2.4GHz
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	受信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)1.4 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)1.5 送信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)1.4
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz～20,000Hz

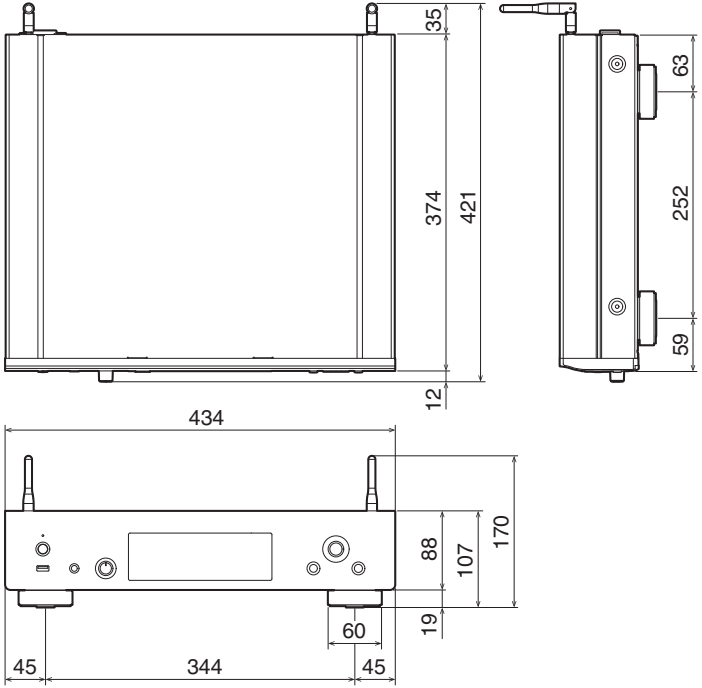
*2　実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 総合

動作温度:	+5 ℃～+35 ℃
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	38W
スタンバイ時の消費電力:	0.2W
“ネットワーク制御”設定 –“オン”時:	2W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ **寸法**(単位:mm)



■ **重量:9.7kg**

索引

☞ A
AirPlay 71

☞ B
Bluetooth 機器 44

☞ D
D/A コンバーター機能 50, 130

☞ H
HEOS アカウント 63, 102
HEOS お気に入り 75

☞ N
NAS 38, 132

☞ S
Spotify 74

☞ U
USB-DAC 27, 52, 130
USB メモリー 28, 41

☞ W
Wi-Fi の設定 94

☞ あ
アップデート 90
アンプ 20

☞ い
インターネットラジオ 36

☞ お
オートスタンバイ 89

☞ こ
故障かな？と思ったら 108
こんなときの解決方法 106

☞ す
スリープタイマー 77

☞ せ
設定メニュー一覧 78

☞ て
ディスプレイの明るさ 77

☞ に
入力ソース 35

☞ ね
ネットワークの設定 94

☞ は
パソコン 29, 38, 132

☞ ふ
フロントパネル 10

☞ へ
ペアリング 44

☞ む
無線 LAN の接続 30, 94

☞ も
文字入力 84

☞ ゆ
有線 LAN 29, 94

☞ り
リアパネル 12
リモコン 14

DENON®

www.denon.com

Printed in Japan 5411 11922 00ASE

© 2023 Sound United. All Rights Reserved.